

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（567）

2. 日時：令和5年9月11日 14時30分～17時40分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江崎企画調査官、宮本上席安全審査官※、

秋本主任安全審査官※、熊谷主任安全審査官、藤原主任安全審査官、

小野安全審査官※、谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋副主任技術研究調査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他10名

原子力事業統括部 原子力安全推進グループ（主幹）※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

（1）泊発電所3号炉 防潮堤の構造成立性評価方針について（構造成立性評価の基本方針のうち解析条件の変更点他）

（2）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））

（3）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。規制庁藤原です。それでは時間になりましたのでヒアリングを始めたいと思います。泊発電所3号炉の防潮での構造成立性評価方針について、これについて事業者から説明してください。
0:00:14	はい。北海道電力の高橋です。本日は防潮での構造成立性の評価方針のうちですね、解析条件等の変更を考えてございます。
0:00:28	そちらを中心に説明させていただきたいと思います。特に止水目地構造、については従来から説明している方式から変更が生じますので、
0:00:42	そういったところを含めて、説明させていただきたいと思います。また今保朝廷の高さについても、見直しを考えてございますのでそちらについても説明したいと思います。
0:00:56	本日は当社千葉の方から説明させていただきます。
0:01:03	北海道電力の千葉です。資料1-1のご説明をいたします。
0:01:09	3ページをお願いいたします。
0:01:14	こちらは本日の説明趣旨となります。その中で矢羽根の三つ目、包丁での高さの変更の対策のうち、止水目地の構造につきましては、
0:01:25	アンカーボルトに作用するせん断力の低減を目的として、止水目地構造、定着部対構成の構造に変更いたします。
0:01:33	それに伴いましてこれまでご説明し、Aといたしました止水目地の構造概要と設計方針について、今回ご説明いたします。
0:01:42	4ページをお願いいたします。
0:01:47	こちらでは、今後の説明スケジュール等についてほど記載しておりますが、その中で番号の3番、止水目地に関する検討方針の中で、
0:01:57	上段の設計評価方針と試験計画、こちらにつきましては本日一部説明という扱いで、下段の、構造成立性評価につきましては、アンカーボルトの性能試験につきましては、
0:02:09	2023年12月の下旬に御説明で、非構造成立性評価そのものにつきましては24年の1月下旬にご説明するとスケジュールを変更してございます。
0:02:22	続きまして5ページをお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:27	5 ページからは第 1 章、解析条件の変更になります。こちらの説明内容につきましては、構成等の見直しになりますので、具体的な説明は今回割愛させていただきます。
0:02:40	続きまして 8 ページ、お願いいたします。
0:02:47	8 ページでは、構造成立性評価において影響があると考えられる項目及び、対策についてのご説明になります。
0:02:55	こちらのページでは表の下部に対策要否の説明時期の追加をしております。
0:03:04	続きまして、9 ページお願いいたします。
0:03:11	9 ページからは第 3 章止水目地構造の変更といたしまして、こちらのページでは、止水目地構造を変更する理由をご説明しております。
0:03:20	黄色のテキストボックスの一番上の丸になりますが、ハウジョウでの高さの変更に伴って、膨張での慣性力が増加して、セメント改良度の挙動が大きくなり、対策前の止水目地の構造では、止水目地コンクリートとセメント改良度の境界面における、
0:03:36	せん断力が増大すると想定されることから、ちょっとしみじみ時の構造を変更いたします。
0:03:42	で、後段のページから止水目地構造の変更後における構造の概要と設計方針をご説明させていただきます。
0:03:51	10 ページ、お願いいたします。
0:03:55	こちらのページでは、止水目地の構造概要について、変更後の構造概要を衛藤説明ページになります。
0:04:04	変更内容につきましてはスライドの下の図の真ん中に、ツツミ時構造設置概要とありますが、こちらは変更後の止水目地の構造の拡大図になってございます。
0:04:19	こちらの止水目地の構造は、セメント改良度に、構成部材で、定着部材と押さえ板及び袋な構成部材としてますけども、を設置いたしまして、ゴムジョイントを固定する構造になっております。
0:04:31	セメント改良度と定着部材は、結構、かつ、千鳥で配置する、アンカーボルトによって固定いたします。
0:04:40	で、アンカーボルトは、軍隊配置とならないように、このアンカーボルト間でセメント改良度の応力状態が、重複しないは、配置として、単体配置としておりますけどもその単体配置とする、いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:53	具体的な考え方につきましては、後ろの 23 ページ 24 ページでご説明いたします。
0:05:00	続きまして 11 ページ、お願いいたします。
0:05:08	こちらのページでは、構造変更後のシースイメージの施工方法を記載しております。
0:05:14	下に図にシースイメージの施工方法ありますけれども、その上の左上の①と、②に記載しています通り、アンカーボルトと、袋ナットを溶接した定着部材を所定の位置に設置した後で、
0:05:28	セメント改良度を確実に充填するとそういう施工方法をとることを考えてございます。
0:05:35	続きまして 12 ページをお願いいたします。
0:05:42	こちらのページでは、H吹鳴時に作用する荷重としまして、地震時に、CCイメージに作用する外力を整理してございます。
0:05:51	地震時につきましては、一番右の図にと書いてあります通り、定着部外に鉛直水平の慣性力が作用するものと考えてございます。
0:06:03	続きまして 13 ページお願いいたします。
0:06:07	こちらのページでは、津波時の概略を記載してございます。
0:06:12	津波につきましては、下の真ん中の図、ご覧いただきますとわかります通り、ゴムジョイントに津波の発が作用したときに、ゴムが膨らんでその張力が発生するんですけれども、
0:06:24	そのゴムの張力によって、
0:06:27	アンカーボルトじゃなかった、
0:06:30	定着部材を固定している位置に、ゴムジョイントによる引張力矛盾等によるせん断力が作用するものと考えてございます。
0:06:40	続きまして、14 ページお願いいたします。
0:06:45	こちらのページでは、重畳時の外力を記載してございます。地震時と津波時、でご説明した通り、
0:06:53	定着部材に採用すると完成力、それとゴムジョイントの聴力に伴う引張力とせん断力が、両方、止水目地に作用するものと考えてございます。
0:07:05	続きまして 15 ページお願いいたします。
0:07:10	15 ページでは、設置変更許可段階と、設計及び工事計画認可段階の説明項目を記載してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:19	下の表に記載しております通り設置変更許可段階では、定着部材とアンカーボルト、この二つの部位の調査をご説明することを考えてございます。
0:07:30	定着部材の評価方法につきましては、後段のページで詳細にご説明いたしますが、定着部材に生じる曲げとせん断の調査をすることを考えてございます。
0:07:42	続きまして 16 ページお願いいたします。
0:07:50	16 ページでは、定着部材とアンカーボルトの評価に用いる解析モデルの A と記載してございます。
0:07:59	定着部材とアンカーボルトの評価においては、地震時と重畳時では、二次元動的 F E M 解析、津波時については、3 次元静的 F E M 解析を用いて行うことを考えてございます。
0:08:12	こちらへと二つの F E M 解析について、解析値と、まとめてございます。
0:08:20	こちらの衛藤解析値のモデルにつきましては、定着部材をビーム要素、アンカーボルトによる固定を解こうばね、オオバ値というのは免職ばねとせん断ばねについて総称して高マネとをしておりますけれども、
0:08:32	あと、セメント改良度を平面ひずみ要素、もしくは攻め、ソリッド要素でモデル化することを考えてございます。
0:08:42	衛藤丸の三つ目になりますが、津波時とへっ重畳時に生じるゴムジョイントの協力による荷重を考慮した解析につきましては、こちら張力の算出に当たりまして解析値でえられる棒状テイカンの相対変位を用いる必要があるため、
0:08:59	また別のと解析②と、衛藤いう解析で実施することを考えてございます。
0:09:06	解析②のモデルにつきましては図の一番右に記載しております通り、アンカーボルトを
0:09:13	固定担として定着部材を張りとした、僚店両端固定張りをを用いた構造計算を用いて計算することを考えてございます。
0:09:25	最後定着部材と、アンカーボルトの評価方法につきましては詳細の評価方法につきましては、解析 1 度解析に結果を、両方を用いてご説明いたしますが、そちらの方へと次のページ以降でご説明いたします。
0:09:38	17 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:42	17 ページでは、定着部材長手方向の評価方法について記載しております。
0:09:47	定着部材の長手方向というのは、左下の図の包丁て海山断面の絵がありまして、江藤になりますけれども、こちらの評価につきましては、解析位置で用いられる定着部材のマーケットせん断。
0:10:03	それと解析にられる衛藤定着部材のマーケットせん断それぞれを足し合わせて、耐えられる曲げとせん断を用いての調査をいたします。
0:10:15	続きまして 18 ページお願いいたします。
0:10:21	こちらの 18 ページでは、定着部材身近手方向の評価方法について記載してございます。
0:10:28	定着部在エミ時片方向の評価方法につきましては、解析②でえられるマーケットせん断での焼損いたします。調査のイメージとしましては、左下の図に書いてある通り、定着部材をモデル化した
0:10:43	解析をすることを考えてございます。
0:10:46	続きまして 19 ページお願いいたします。
0:10:51	19 ページでは、アンカーボルトの評価方法について記載してございます。
0:10:58	アンカーボルトの評価では、解析値でえられる引張力せん断力と、解析 2 で見られるアンカーボルトの引張力せん断力を足し合わせて調査をいたします。
0:11:10	解析値で減られるアンカーボルトの引張力と、せん断力は、解析モデルに設定した 5 倍の反力から算出いたします。
0:11:19	ぜひ、
0:11:21	スライドの一番右左の図に、のセメント改良象定着部材の境界部のモデル化イメージ、記載しておりますが、それぞれ面直ばねと、せん断ばねを設置いたしまして、X Y Z 方向の、
0:11:34	は、反力を算出いたします。
0:11:40	真ん中の図に、郷ばねの反力とアンカーボルトに作用する引張力及びせん断力の関係を記載しております。
0:11:48	こちらの上の図では、アンカーボルト、衛藤日本へと配置性でアンカーボルトに対応する荷重について、X 方向 Y 方向、Z 方向の 3 方向が考えられますが、
0:12:01	こちらのそれぞれの方向のアンカーボルトの荷重は、同じ方向の 5 倍の反力を用いて、算出いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:09	で、その際にその2本あるアンカーボルトの絵と荷重の江藤分担方法につきましては、その荷重はセメント改良度と定着部材な境界面に作用するもので、
0:12:19	セメント改良と定着部の剛性差によるせん断力及び慣性力でありまして、境界面に一様に作用すると、と考えておりますので、算出したばね反力の分担比率については、この縦方向と横方向に配置したアンカーボルトで、
0:12:34	50%ずつと、と分けることを考えております。
0:12:39	で、この際にですね、実際にはこの定着部材とセメント改良度の間に、付着力があるかもしれないがと考えられますが、こちらの表ご指摘にですね、この付着力については考えず、衛藤ばねに生じ反力をすべてアンカーで受け持つと考えて、
0:12:54	当評価をすることを考えてございます。
0:13:00	続きまして解析②での考え方になりますが、そちらが右の図で記載しておりますが、解析に出られるアンカーボルトの引張力とせん断力につきましては、ゴムジョイントの張力が定着部材に作用することを踏まえて、
0:13:16	定着部材身近手方向を考慮した、両端固定張りの固定化のヘッド反力とすることを考えてございます。
0:13:27	続きまして20ページ、お願いいたします。
0:13:33	こちらのページからは、アンカーボルトの性能試験についてその試験計画についてご説明しております。
0:13:41	で、衛藤丸野二つ目になり、黄色のテキストボックス内の丸の二つ目になりますが、止水目地の構造を変更した場合においても、
0:13:52	アンカーボルトで、セメント改良堂に固定する構造でありまして、高強度部と同様にアンカーボルトは単体配置として設計することから、アンカーボルトの設計方針と、性能試験のフローにつきましては、
0:14:04	第1111回の審査会合でご説明した内容から、変更は不要であるとと考えております。
0:14:10	ちなみにこの京都府の販価資料と配置計画につきましては、江藤合田の補足説明資料1に記載してございます。
0:14:21	続きまして、
0:14:23	23ページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:33	こちらのページでは、アンカーボルトの縦方向と横方向に直交して配置するときに、アンカーボルトの性能試験で想定される破壊形式を江藤整理してございます。
0:14:45	表の中に破壊形式の12356とありますが、こちらが、アンカーボルトを縦方向と横方向にこうして配置した時に、それぞれのアンカーボルトの破壊形式を考えて、
0:15:00	軍隊配置となることを考えて、考えた衛藤破壊の形式をと書いてございます。
0:15:08	表の下外形式の①と②番につきましては、それぞれのアンカーボルトに荷重が作用したときに、引張とせん断で根性破壊が生じます。生じることを考えたときにそのときの影響範囲を、
0:15:20	と記載しております。
0:15:23	勉強会形式の3につきましては、
0:15:26	C I S S イメージを、側面、から見て、
0:15:30	アンカーボルトに塗料両方なんかボルトに根性破壊が、土工考えた時の影響範囲を記載してございます。
0:15:39	背景式の4と5番につきましては、アンカーボルトに荷重が作用したときの側方局長破壊と根性破壊の衛藤範囲が重複する場合の破壊形式、
0:15:50	破壊形式6番については、剪断の根性破壊と、プラウトの破壊が重複する場合の破壊形式を考えてございます。
0:15:59	ただ、こちらの破壊形式を整理したんですけれども、実際に設計で使用するアンカーボルト、実際に設置するアンカーボルトについては千鳥で配置いたしまして、アンカーボルト間に十分な離隔をとった単体配置とすることを考えておりますので、
0:16:14	これらの破壊形式については、アンカーボルト性能試験においては、想定しないと考えてございます。
0:16:22	続きまして24ページお願いいたします。
0:16:27	こちらでは、とは会計士衛藤前段のページでご説明した、1から6の破壊形式を避ける配置の考え方を記載してございます。
0:16:37	アンカーボルトについては、こちら、1から6までの破壊形式が生じないように、千鳥配置、アンカーボルト間に十分な離隔をとることで、セメント改良に想定される赤い領域が重複しない配置とすることから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:52	アンカーボルトの性能試験で、各種合成構造設計指針の適用性を確認した上で、各種合成構造設計指針に基づき設定いたします。
0:17:03	続きまして 25 ページお願いいたします。
0:17:09	25 ページでは、性能試験の確認項目イセ試験のイメージ図等野瀬でございますが、こちらの試験の方針につきましては、
0:17:19	全体 1111 回の審査会合の説明内容から変更はないということを考えてございます。こちらの性能試験の結果につきましては、今後設置変更許可段階でご説明いたします。
0:17:35	続きまして 27 ページをお願いいたします。
0:17:41	27 ページは第 4 章、構造成立性評価断面の集約ということで、評価断面の考え方について記載してございます。
0:17:50	黄色のテキストボックスの中の三つ目の丸になりますが、構造成立性の評価断面につきましては、衛藤、
0:17:58	評価条件を保守的に設定することで、2-2 断面を集約して実施することを考えてございます。矢羽根の一つ目になりますが、地震時は、防潮で背面等圧がハウジョウで海側に押す方向に作用することから、
0:18:11	ロクロク断面の動圧を、2-2 断面に保守的に作用させる。
0:18:16	山根二つ目、津波時と重畳時につきましては、防潮で背面の動圧が、津波の波力打ち消す方向に被災をすることから、2 の 2 段目の動圧を採用することを考えてございます。
0:18:28	続きまして、28 ページお願いいたします。
0:18:33	こちらのページでは、高強度部に用いるアンカーボルト等の仕様と配置計画についての江藤考え方載せてございます。
0:18:43	高強度部につきましては、止水目地と同様の仕様で、さらに単体配置かつ先付け工法として計画することを考えてございます。
0:18:56	つきましてはこちらの表の 1-1 のご説明は以上となります。
0:19:07	はい。規制庁藤原です。
0:19:11	まずちょっと今回の資料全体のちょっと構成的な話で
0:19:17	何ですかね 6G、2 ページ目パウポの 2 ページ目開いて 1 ポツ 2 ポツとか 4 ポツ、これは何かある程度の市内容が絞られていると思っておりますが、
0:19:28	3 ポツについては何か大分パウポですごい説明なされて、
0:19:33	これって一体何を議論対象としているのかってのはすごくわかりにくいですがデータだ、まとめ資料で X I としてはその 3 ポツ内容

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	は、当然要は設計の考え方として、当然もし生田目白土栄養タテで通常整理されるもの。
0:19:49	今回の資料提出にそういったまとめ資料のA4 縦ですかね、通常、対津波だとそういうのがいわきに出てきてやっているところなんすけども、
0:19:58	何か膨張て関係はそれが一切ちょっと出てこなくて、私は、何回かちょっと申し上げてるんですが防潮てに關してもやっぱ同様に、まずまとめ資料でどういった設計をやるのかこれは、
0:20:09	一連の中で示した上でパワーポイントについては、何を議論しようとしたのかというのをちゃんと明確にして議論し、スルーものをちょっと明確にさせていただかないと、
0:20:21	正直このす特に3ポツで書いてある内容、この支出イメージの構造変更ですか。
0:20:27	何かすごい何か
0:20:28	通常の設工認で一般にやられてる項目。
0:20:33	と何が違うのか。
0:20:36	とかですね。
0:20:37	ちょっとわかりづらいんですよ。
0:20:40	ちょっと例で言うと16ページとか開いた時に何か突然中日のよさとか、そういったとか平面ひずみ要素とか出てくんですけど、じゃあこれって、
0:20:49	何かこれ議論する必要ある代物なんですか。
0:20:53	いや説明としてまとめ資料とかでA4 縦ですよ。
0:20:56	あってもいいと思うんですけど、パワーポイントに、これ議論する内容は従前の設工認で示されて内容と何か違いがあるんだったらそれをきちっと説明しないといけないと思うんですね。
0:21:07	まずそこはちょっと明確にさせていただきたいですアノ飯尾アノちょっと、何を議論の対象としているかがちょっと今回の、特に3ポツについては、すごくちょっとぼやけている。
0:21:19	あと19ページも一緒ですよ、19ページにも、
0:21:23	何かいろいろな何かばねを出す、ばねを使って引っ張り力出す。ここまでは、もしかしたらいいのかもしれないけど、じゃあ、本当に議論して欲しいのはこの50%にしてるやつ、こいつじゃ、
0:21:34	議論して欲しいのかっていうのが、
0:21:37	多分埋没してしまってるんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:40	あと、
0:21:41	じゃあその議論して欲しいものがあつたら、じゃあなぜそう。
0:21:44	しないといけないのか。
0:21:46	杉例えば先行サイトの審査では、保守的にこういうふうな評価をやっているものの、泊ではこれより精緻にやらないといけないんですとかですね。
0:21:55	或いは泊の特徴なんですとか、そういうところが正直今の資料で、全然わかんないですアノなので、あと、もう、もう1点も言うんだつたら、要は何か前回審査会合で何か述べた資料なんか再び、
0:22:08	載つけてるものもなんか幾らかあるんですけど、例えば22ページとかですか、これって、
0:22:14	パフォ令和 t h e かく必要あるんですか。当然A4縦にはあつてもいいかもしれんすけど最低%本載せるとしても、補足ぐらいかなという印象もあつて要は、
0:22:25	議論スルー者が何なのかがすごくわかりづらいです。
0:22:29	そこちょっともうちょっと資料の作り方ですか。再度確認をいただいた方がいいようなんじゃないと何か、
0:22:38	それともこの会話の審査会合という、ねこの議論で終わらないんですね。要は、細かいところに議論が入って行って、一体何を本当に議論した方がいいのか。
0:22:47	というところをちょっともうちょっと今後ですから、事業者として努力を、
0:22:51	いただきたいんですが、いかがですかね。
0:23:03	はい。北海道電力の立田です。
0:23:06	江藤、ちょっと止水三混、本日の目次の3の、
0:23:12	止水目地構造については、
0:23:15	ちょっと構造変更したということで、前回会合並みの資料をベースにちょっと整理していたというところの、実際そういう作業をしてしまったところがございます。
0:23:26	今藤原さんからご指摘いただいた内容としては何を、
0:23:32	設置許可の中で、論点として聞いて欲しいのかつていうところが、こちらからのこういうふうなやりませつていうだけの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:41	資料にしかなくてませんので、ちょっとこういうことで、ちょっと論点を志望という形での
0:23:51	ちょっと資料構成のすみ直すとかさせていただきたいと思います。まとめ資料が、
0:23:58	まだ今作成同時に作成中ところもございましてちょっと本当は
0:24:02	先ほどの50%50%の話とか、B案の病巣の解析の細かい話っていうところは、
0:24:10	本来、こういうところでは普通にやるところの話なのでは、こちらで、設置許可段階で判断していただきたいというものではないので、
0:24:20	その辺はですね濃淡つけて、絞った形にさせていただこうと思います。
0:24:28	セトメトキですか。
0:24:30	そもそもこの10ページ書いてある、
0:24:33	止水目地ですね。
0:24:35	この形式は、世の中一般的に、
0:24:40	あるものなんですか。
0:24:42	あるものなんですか。
0:24:44	聞いてるんですけど。
0:24:46	実績があるんですかって聞いてるんですけど。
0:24:48	まずは、そもそもの出発点として、
0:24:57	それ等、
0:24:59	合成行動指針だけ、ああいったものにこういった形の汎用性っていうのは、
0:25:04	あるんですかっていうのをお聞きしたいんですけど。
0:25:08	嘘。だから、介護にかけるのに、
0:25:11	それが定かじゃないと。
0:25:13	議論しようがないですよねまずね、そちらの話で、
0:25:17	我々はこんな見たことないから駄目だって言うのかね、基本的に。
0:25:22	それなりに
0:25:24	見たことがないので基本的には実績がないとして評価するって話になるのかそれをそもそもそちらとしてどう考えてるかっていうのが出発点としてあるべきなんだけど、
0:25:33	それをまず、藤江長崎。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:36	宇都聞いてるんだけど、その辺の部分っていうのはどう考えてる。
0:25:41	どう考えてるかどう取り扱おうとしてるんですか。
0:25:44	北海道電力の立田です。実績とこれニワってした実績というのは、つまり、お話ししないのかもしれませんが、
0:25:55	各種合成しに適用できるという考えでいけば、
0:25:59	はい。
0:26:02	必ずね、指針の中には適用範囲って書いてあるはずなんですよね。
0:26:07	その適用範囲、
0:26:09	に入ってるっていうのが確認できてるんですかって聞いてるんだよ、さっきの話は。
0:26:23	指針としてですね、北海道、
0:26:26	電力の、
0:26:28	はい、北海道電力の佐藤です。
0:26:32	衛藤指針にこの
0:26:35	タテ横に配置したアンカーボルトの、
0:26:39	止水目地構造というのは、記載は確認できておりません。
0:26:43	というところで、実績としてはないものだというふうには考えています。
0:26:47	ただ設計内容として、各アンカーボルトで、
0:26:53	応力の分配を考えたときに、単体配置となるように、
0:26:57	設計している、その物の設計の思想を、この
0:27:02	止水目地構造では、
0:27:04	考えています。
0:27:06	適用範囲がないから駄目だっていうんじゃないけど適用範囲をはみ出してるんだよね。
0:27:12	はみ出してること。
0:27:14	においてその合同指針が使えることの妥当性を今確認しようとしてるわけだよね。
0:27:19	そういったプロセスで何がはみ出しているのか。
0:27:23	何を確認とはみ出してるのか確認しなきゃいけないわけですよね。
0:27:26	そういったことが何か整理されてないんじゃないかなっていう気がしていて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:30	ね。
0:27:35	それを基本的には、実験でどのように確認していくんだとかそういった話、プロセスが、それを設計にどのように反映していくんだって話を示していく方針ですよ。
0:27:47	そこを不ゴールにして考えているっていうような方向性が見いだせないから何となく
0:27:53	ぼやっとしてるのかな。
0:27:54	とは思っているんですよ。
0:28:00	だから、それで、
0:28:02	しいて言うと審査会合で何か起きるんですかってのは、もともと今のフジタの話なんだけど、これ実績がない。
0:28:09	いいところと大きく超過してないっていうのは、判断だと思うんでそっちは。
0:28:13	だけど、基本的には、
0:28:15	純粋に言ったら適用範囲を外れている。
0:28:19	だけど実質的にはそんなに応力的にはそんなに超過してないんだけどそれをちゃんと証明していかなくちゃいけないっていう話だと思うんですけどね。
0:28:30	そうしたところが何かぼんやりとしていて、何をしたいのかっていうとそういったものを今後説明する。
0:28:37	という話になると思うんですよ。
0:28:38	ただ、
0:28:40	今考えてるものに関しては前野大本よりいろいろな部分で、
0:28:45	合理性があるっていうか、割と、
0:28:47	体力、
0:28:49	強度が、
0:28:51	かなり
0:28:52	向上するというふうに考えてるわけですよ。そうした形で今形を変えますと、
0:28:57	その形を変えることによって、今言ったような創始指針ベースでいったときに、何が足りまだね。そう。
0:29:04	を確認しないとイケないような項目があるのかっていうのは、
0:29:08	明確にして示していただくという話で、ストーリーを作っていくのかなと思うんですよ。
0:29:14	今回どこまで東ソー、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:16	そもそも 10 月ですね。
0:29:18	審査会合でどこまでやるか、説明できるんですかというところにも関係してくるんですけど。
0:29:24	細かい話は我々よくニイツ確認もたくさん、
0:29:27	ピックアップされるので、今後、これから確認していく話は、今から話はあるんですけど、それとは別に、審査会合にどのような形で書けるんですかっていうのを、
0:29:37	藤原が言ってるんで、そこを明確に高さが、コンセプトを説明しないといけないと思うんだよね。そうしないと、いつまでたっても、
0:29:46	もう多分 10 月はかけられないって話にしてしまうのかどうするかかっていうことだと思うんですがいかがですか。
0:29:58	はい北海道電力の高橋です今ご指摘いただいた通り、今回、この止水水構造については、先ほど来確認をいただいておりますけれども、
0:30:10	まずはこの構造が実績があるのか、そういったところを述べた上で、あとは指針の適用範囲に外れてる。
0:30:19	部分というのはどういうところがあるのか、我々としてはそれを実証するためにこういう試験をやりますとかこういうふうを考えますって言う前段のコンセプトのところ、
0:30:29	確かにないっていうことを認識しましたので、
0:30:34	素行について資料をちょっと
0:30:37	見直しをしたいと思います、10 月はすごい。
0:30:46	はい。
0:30:49	平木の話でね。
0:30:52	なるほど
0:30:54	だけど、審査会合をかけるのであれば、
0:30:57	まずそちらが近いのは、どこの部分を、
0:31:00	どういう理由でこういうのは当然書けないんだ。
0:31:03	ていうこと。
0:31:04	はい。その二つを、
0:31:07	積極的に
0:31:08	トリガー的なものを
0:31:16	はい北海道電力の高橋ですけれども、ちょっと社内で議論させてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:39	はい。北海道電力の高橋ですけれども、当社としましては今回、この防潮での止水目地の構造の変更の部分に関しましては、
0:32:51	10月11日に飯野頭にあの会合でご説明しようと思っておりましたが、先ほど来ちょっと指摘いただいているところを、についてですね、
0:33:02	詳細資料を修正してお出しするっていうのは、ちょっと難しいかなと考えてございますので、今回この止水目地を従来の方針から、
0:33:13	なぜこう変えたのかと。
0:33:15	その変えることによってどういったところを今後、自分たちで何をしようとしているのかといったような、そこまでの話として、
0:33:27	5日の日に開校にかけさせていただきたいというふうに考えてございます。
0:33:41	はい。規制庁藤原です。ちょっと今回の資料でそうですね。
0:33:48	バス議論がちょっとなかなかしず。
0:33:51	できないというか、何が。うん。
0:33:53	どういう話が、持ってきたのかちょっとわかんないんです。これじゃ、
0:33:57	近々の審査会合においてはそういったある程度の方針は言うとして今後、
0:34:04	どういうふうに口は具体的にやっていくのかについては、まず、A4縦の資料で、実際に
0:34:11	本来やろうとしたことをきちっとやった上で、じゃあ、それと同時並行的に、まず、指針がどうあってそれを外れてるものがこうあって、これが、
0:34:21	外れてるものとしてこういうふうにやっていくんだみたいなどころですね、多分24ページとかもしかして結構、
0:34:27	それが重要なかもしれないけどですね、要はそういったものが多分そういった、後から見たときに、じゃあ何が重要なのかというと、当然クローズアップしていくと思うんですよ。だからそこは、
0:34:38	それは24ページがあったらそれを確認するためにその前段階でどういう説明が必要なのかどうかですね。
0:34:46	いうのが、きちっとやってください。これは後、
0:34:49	今止水目地の3ポツは、今後、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:34:53	説明あるとは言いましたが一応我々だけヒアリングの中で、具体的にですね、細かいところは
0:35:00	こういうことなんですかという事実確認させていただきますが、一応今後の整理の中でそういった、今日の事実確認を踏まえて、はい、出席いただけるようお願いいたします。
0:35:09	そうです。
0:35:58	付けますし、庁内で打ち合わせ中で少々お待ちください。
0:36:50	はい。庁内打ち合わせが終わりました。はい。
0:36:54	今日一応資料の中身等いろいろとあるのでちょっと確認をさせていただきたいと思いますのでええと、
0:37:01	まず膨張ての構造。
0:37:04	変更に関わるものとして2ポツ、1ポツから2ポツの内容についてちょっとお話をさせていただきます。
0:37:16	確か、私の方からまず最初言うんですけども5ページ目は、
0:37:20	開いていただいてですね、5ページ目、これについては高さ変更の理由としてこういうふうに書いてある程度理解をするものの、
0:37:30	あと、どこまでこのパワポで細かくかっちゅうところがあるんですね確かにこの潮位のばらつきだとか調査とかいうのは今、確認中ではありますけども、
0:38:20	ちょっと今、庁内で打ち合わせ中少々お待ちください。
0:38:25	規制庁会田ですけど、多分設計裕度っていうのをある程度説明したいんだと思うんですけど、設計裕度はちゃんと足さない、施工されるためにはしっかり取りますって先月はいいいわけじゃないですか、まずここでは。
0:38:38	今どれだけ取れるかっていうことは、まだ確定してないからお互いに確認しようがないし、そちらもず、
0:38:45	振って記載できないですよ数字数字だもんだからそこは精神的にどうしたいのかと先行実績並みに裕度を確保したい、余裕は確保したいってことだったと思うんですけど。
0:38:56	その辺は何かそういった書き方をするか、何らしかあまり具体的に、
0:39:00	説明で、もともとできないんであるんであれば、
0:39:03	それなりの記載でいいんじゃないかと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:09	はい。北海道電力の高橋ですけれども、今ご指摘いただいた通り、入力津波高さが決まっていないので、設計裕度が幾つあるっていうのはなかなか言えないんですけれども、
0:39:21	一応従来の方針から、今、基準津波の高さも決まってないので、なかなか言いづらいところはあるんですけれども、
0:39:31	基準津波の検討の中で上がるっていうのがわかったんでそれに比べて、裕度は同等以上に確保してますっていうことを言いたいですけれども、ご指摘いただいた通り、
0:39:42	決まってない話、応援しても仕方。
0:39:46	ないのかなと。前回のヒアリングの中でも、この辺もう少し具体的にしていきたいという話もあったんで、割と丁寧に
0:39:56	作ったつもりだったんですけれども、確かに決まってないってのはおっしゃる。
0:40:02	はい。
0:40:04	えっと、九州規制庁フジワラですけども一応、ヒアリングで我々言ってることはすべてパワポに反映させる必要はないんですねさっきも言ってるようにまとめ資料でちゃんと説明すべきものとか、あと、
0:40:17	パワポでやるにしても補足なのか参考なのかってありますよね。
0:40:21	要は、本当に議論するのは何なのかっていうのをちゃんと北海道電力が考えた上で、そこに書いて欲しいよ、今回はあれですよ、解析条件を変えたい。
0:40:31	でしょ。
0:40:32	じゃあ超えます。
0:40:33	変えるにあたってまだ未確定要素はこうです。
0:40:36	ていうのが多分、言わんとしてる、いやそうなんです何かいわゆるすごい5ページだけ見てそこは見えないんですね。
0:40:43	いいですかね。
0:40:49	はい北海道電力の高橋です。いろんなことが、まだ確定されてない中で、いろいろご説明を差し上げた資料になってございますので、
0:40:59	今回条件として何を変えるのかといったところがしっかりわかるようにして、さらに、今書いてるような入力津波で説明すべき

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:09	誘導的な話っていうのは、おっしゃる通り、パワーポイントの本文で書く必要はないと、確認しても補足とかそういったところかなというふうに、
0:41:20	考えますので、そういったところを修正させていただきたいですし、いずれまとめ資料でしっかりこの辺、記載していきたいと思えます。
0:41:30	はい。規制庁城ですわかりましたスズキでちょっと私、せっかくなんで6ページ目ちょっと開いていただいて、
0:41:38	この図をちょっと見たときに、1、ちょっと、
0:41:40	これは単純に事実確認なんすけど、高強度部っていうのが、
0:41:44	あってですね変方針変更前は、ミヤモトシオヤよりもちょっと上側までカバーしてる、多少ちょっとウエイトセメント改良とか、下を海側に出してる。
0:41:56	状況ですね、多分日、この状態だと多分船が当たったとしても、あんまりここまで来ないのかもしれないし逆に下の方にあたってものなんか、何ていうんすかね
0:42:07	滑り面ってのはそんな影響なかったのかもしれない。
0:42:10	今回はあれですね大高強度部の範囲っていうのはあんまり、前回と変わらず、セメント改良部が海に露出してる面がちょっと広がっている。
0:42:19	あと埋め戻しても当然あれですね、液状化で沈下するし、場合によっては、松波でどっか行っちゃうケースも今、解析上模擬してるんだったら、じゃあその時に、
0:42:30	じゃあこの高強度がないところにぶつかったらどうなるのか、その辺がちょっとごめんなさいよくわからなくてこれ事実確認なんすけども、高強度のこの範囲、えんじ高校ですね、これって今何か検討中ですか、それとも、
0:42:41	まだ何か、もうこの形今決まっ、決めそうだっていうことでしょうか。
0:42:46	北海道電力の松本です。渡航共同部の範囲につきましては現在検討中ではあるんですが、16.5メートルの時と高さの範囲は変わらない見込みで今設計をしております。
0:43:01	はい。高さ方向の設定につきましては、漂流物がセメント改良度に直接当たっても壊れないところまでを高強度部の範囲に設定することを考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:14	規制庁藤丸そしたらあれですかね従来説明と今回説明におけるそういった要は壊れないっていう更新は変わらないのであって、実際解析をやったらこの高強度の範囲は当然、
0:43:26	変わってくる。そういうことだったら、そこは何か米印か何かで注記を入れた方がいいと思うんですねじゃあ、許可でこれって成立性の、
0:43:36	評価やって、範囲はある程度決めるんですけどつけね。だったらあれ今後、この範囲についてはちょっと下へと、ここ、
0:43:55	北海道電力の松本です。現在の方針としましては設置許可段階である程度高さはここまでですというのをお示ししたいと考えております。そのことがわかるように資料に記載したいと思います。
0:44:38	規制庁熊谷です。
0:44:39	私からもですねその膨張ての構造のところについてちょっと確認をさせていただきます。
0:44:46	7ページの、
0:44:48	ところでですね、今回
0:44:52	津波の高さが変わったということですね
0:44:55	膨張て高さの変更に伴ってTP19.0にすると。
0:44:59	いうことを示されてるんですけども、
0:45:02	こういったその高さがですね、高くなることによってその
0:45:06	膨張て地震その
0:45:08	方針変更前と変更後で、
0:45:10	具体的にどのような形で形状が変わっていくのかとこの、
0:45:14	防潮堤の高さを高くすることはわかったんですけども、
0:45:18	高くすることに伴ってですねそれに伴って
0:45:22	イメージ、イメージなのかもしれませんが、
0:45:26	見てみると、
0:45:29	その上の三角形のところですね、ただ単純に大きくなってしまふ、大きくなっていて、
0:45:34	その土がかぶってる部分とかもですね。
0:45:37	短くなってるようなふうなイメージになってます。こういうふうなイメージなのか、それともその、
0:45:44	斜面の高さの角度をですね、変更して急角度にするのか、そこら辺はちょっとよくわかりませんが、
0:45:51	ちょっとどのような形ですねタカダが変わることによって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:55	膨張ての、
0:45:57	形状とかが変わっていくのかっていうのを、説明してもらいたい なと思ったんです。というのもですね、これ
0:46:04	ハウジョウての、
0:46:05	形状が変わりますと。
0:46:07	この校長ての後のところのある
0:46:11	このイメージの通りだとこの後のところにある。
0:46:14	面積なんかがですね、削られているように見えまして、防潮庭の 裏側にある例えばアクセスルートだとかですね他の設備とかも、
0:46:23	あるかと思うんですけども、そういったものが削られてしまうよ うなことがあるんじゃないかもしくはそういったものを、
0:46:30	影響出ないようにですね、何かしら違うような設計しなきゃいけ ないんじゃないかと。
0:46:35	いうことももしかして考えられてるのかなと思ったんですがそこ ら辺について、ご説明いただければと思います。お願いします。
0:46:48	はい。北海道電力の立田です。
0:46:51	7 ページ目で示したこの
0:46:55	19 メーターに上げるんですけども、今、
0:46:59	コメントいただいた通りこの三角形の部分をそのまま高さ上がった 分角度を変えずに、
0:47:05	上げる予定になってます。
0:47:08	今、この図面でいくと右側の敷地側の、
0:47:15	土地が土地が膨張て出オカされるんじゃないかということは、
0:47:20	ご指摘の通りで、その部分を今アクセスルートの部分が平面的に はございますのでその辺も成立性を合わせて考えて検討してござ います。
0:47:36	はい。北海道電力の高橋です。今この堤体が上がったことによっ て敷地の山側の方ですね。
0:47:46	それが少し T P 10 メートルの断面で追い込まれているということ になりますので、アクセスルートであるとかっていったところ には、
0:47:56	ご指摘いただいた通り、影響を、があるというふうに思っ てます。ただし、そのアクセスルートがそもそも考えている。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:06	考え方ですとか、ああいうことで、実際には影響はないというふうに整理が今できてますので、他条文への影響をにつきましては、今後、
0:48:17	19メーター書きあったような段階で、ご説明しようというふうに今考えているところでございます。
0:49:06	木内ハラです
0:49:09	一応他条文への
0:49:12	影響というのが今回は説明はないにしても入力津波が確定して、
0:49:21	防潮店高さ確定する時期、まだイワサキーですかね。
0:49:25	今の話だと、ニワ説明がなされるとそれはあれですか。
0:49:31	4ページとかその時期、
0:49:34	入っていますかね。
0:49:37	4ページだと。
0:49:39	10、
0:49:40	他条文への影響、平面形状、
0:49:44	こっちの平面、まじ20だったらあれですよねナカヤマちゃIIに絡んで、
0:49:49	他条文とか、もう含めていたんですけど、もしかしたら、ここにいろいろそういったものもあるんだったら
0:49:56	これ個別違う基準適合に係る審査になってるからじゃこれは、
0:50:00	これって何だっけ。
0:50:03	こっちどうでしたっけ。北海道電力の高橋です。こちらはですね、以前海側の平面線形形状を変えるにあたって、
0:50:15	これが変わることによって、他条文への影響はどうかということで一通り説明させていただいた時に、その時まだDBSAの方はすべて説明しきれてなかったんで、
0:50:27	そこで詳細は成立性があることだけ、防潮ての方で説明させていただいて、個別条文のところは個別条文で審査いただいたと。
0:50:36	今回高さ変えることによる影響も、これと同じような形でご説明しようと考えてございまして、ただし個別条文の方はもうすでに一通り終わってますので、
0:50:47	そこで影響が出るものについては、個別条文でまた再度ご説明。
0:50:53	しようというふうに考えてます。
0:50:57	何かまゆ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:59	そうすると、いや、そうですねすみません10ポツのところについては、今私がちょっと説明口頭で説明したこと含めてですね、資料に反映したいと思います。
0:51:13	いや、一応ですね影響があるっていうふうに単純に、
0:51:19	整理できるものがありますんで、影響が出るんだけどもこういう対策もしくはこうするんで、影響出ませんっていう、最終的にはそういう説明になろうかと思えますんで、必要に応じてちゅうか必ず説明するようにします。
0:51:35	はい。そしたら4ページの10のところについてはじゃあ、ちょっと今日の高さ変更も含めてちょっと今後のスケジュール関係ですかね、要はちゃんと説明するんでしょう。
0:51:46	それがいつなんですかっていうのが、わかるようにですね要は時期がわかんなかったら、入力津波確定後とか、ああいうふうにちょっと記載いただけるようお願いします。よろしいですかね。
0:51:58	はい。北海道電力の高橋です。承知いたしました。
0:52:10	規制庁の若狭です。ちょっと8ページ目なんですけど、言葉じりだけかもしれませんが、
0:52:16	丸の二つ目で、
0:52:19	防潮高さの変更に伴い止水イメージのアンカーボルトに作用せん断。
0:52:26	力が増大すると想定されることから、止水目地構造を変更するって書いてあるんですけど、
0:52:33	この想定されるだけで止水目地構造を変更するんですか。
0:52:38	5日の審査会合と言われるのは、何で前のやつが使えないとか応力的にアウトになるから、今回変更するんですかっていう理由の一つにもなるんですけど。
0:52:50	これが想定されるという一言であらわすこと自体が問題だと思うんですけどこころは事実関係を教えてもらえませんか。
0:53:14	はい。
0:53:25	北海道電力の佐藤です。衛藤。
0:53:28	記載として、
0:53:31	想定と書いたんですけども、実際のところは社内検討においては、19メーターでやったときの、慣性力の増大から、
0:53:39	こちらの応力が今のままだと。
0:53:44	厳しくなると、いうことを確認しておりまして、口頭変更には、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:49	至ったということになります。以上です。
0:53:54	言うん正直に書いた方がいいと思いますね想定されるのではなくて、法令的にかなり厳しくて、成立せずに、多少問題あると。だから今回こういうふうに変更しますという話を、
0:54:07	まず最初に言って、今言ったような、皆さん言ったようなストーリーをまとめて5日の会合に、だからこういう新しいイメージ構造に変えるんですと。
0:54:18	いうふうなストーリーを作った方がいいと思いますんで、ご検討の方よろしくお願いします。
0:54:24	北海道電力の佐藤です。衛藤。
0:54:31	社社内検討のことですか、これに関わる変更理由、
0:54:37	そういったところのストーリーの作り方について承知しました。
0:54:46	はい。
0:54:47	規制庁の谷口です。
0:54:49	ちょっと教えてください。
0:54:52	今、
0:54:56	例えば13ページ目のところに、
0:54:59	節水目地。
0:55:01	松波の荷重ワー、
0:55:07	防潮底の横のところから、こういう荷重が加わります。
0:55:12	ていような想定が書かれていて、
0:55:15	それに対して止水目地が緑色のところに止水目地を設定しています。
0:55:21	ていイメージのものが、
0:55:23	4ページのところあたりからずっと書いてあって、
0:55:26	それで、
0:55:28	チーム構えの敷地の高さから1メートルの方のところまで水目地入れますって書いてあるんですけど、
0:55:35	こういう津波を想定した。
0:55:39	ものに対してこの津波のよば水やつっていうのかな、それを抑えるためにこう進め入れてるんですけど、
0:55:48	本当にこれ1メートルでいいのかっていうことも含めた説明っていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:55:54	どういう根拠で1メートルっていう形で決めてらっしゃるのかちょっと教えてください。具体的に施設イメージの1枚1はこの部分だけでいいということと、それから、1メートル。
0:56:06	見ることだけで問題ないっていうのは、どう説明してされてるのか教えてください。
0:56:20	北海道電力の松本です。止水目地の根入れの長さにつきましてはこれまで先行サイトウの審査等を見ながら、
0:56:30	決めた経緯はありますが、泊のサイトにおいても背面に埋め戻し度がありますのでそこからの浸透はしないというふうな考えで、沈下高さ、
0:56:44	プラス、刀禰入れを十分にしておけば大丈夫だろうという考えで設定したものになります。
0:57:02	結局、今、考え方として埋戻し等のところからは浸水しないっていう想定を考えてるっていうことなんでしょうけど、
0:57:12	それが、
0:57:13	従来でそう従来もそういうふうにしてるから、
0:57:17	同じようにしましたっていうロジックなんですか。
0:57:21	北海道電力の松本です。津波が大勢している時間、
0:57:25	において海側から敷地側に水が入ってこないといったところを考慮しておりますその考えで設定しております。
0:57:51	チームは、
0:58:09	規制庁の江寄ですけど、それだって科学的に説明してください。
0:58:14	計算で、
0:58:15	設計計算ってどういう設計計算してそれを成立させるのか、それができないのであれば実験で確認するのか、何か方法あると思うんですよね。手計算レベルで考えるのか。
0:58:27	設計計算で、じゃなければ、そう。
0:58:30	浸透流解析してるところもあったとは思いますがそういうところで考えていくのか。
0:58:35	もしくはその実験で、
0:58:37	どういう証拠で示すのか。
0:58:40	いずれかしかないと思うんですけども、
0:58:44	科学的に行った上で、
0:58:45	相場感でいいっていう話はできないですってことだけをお伝えしときます以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:52	北海道電力の松元です。現在のところ、今のご指摘踏まえまして どういった説明ができるかというところを考えたいと思いますが まずはちょっと浸透流解析等の
0:59:05	定量的に浸透してこないよというところが示せばいいかなと考 えてますので、ちょっと持ち帰って検討したいと思います以上で す。
0:59:16	結局ここ2施工目地を入れるっていうところに、ごめんなさい。 止水目地を入れるっていうところに関しては、
0:59:26	基本的に一体化してる、
0:59:33	防潮での部分に対して、
0:59:36	施工的な、
0:59:38	目地が実際やるにあたっては、あるできちゃうわけですね、施 工的に。
0:59:44	そこカラーそこを想定してそこから松波が入ってくる可能性があ るから、
0:59:53	この部分に目地を入れようとしてるっていう考え方になるんだ とすれば、当然施工の目地がどこに入るかっていうことを考えた 上に、
1:00:03	ここに止水目地をつけるんだと思いますけど、その辺の考え方を やっぱり、どっかに書いておかないといけないな、いけないんじ ゃないかなと。
1:00:13	思ってた、
1:00:14	水圧がここにこういうふうにコメントをどこにかかりますって書 いてあるんですけど、じゃあどういう、津波の圧力がかかるのか ってことも当然考えていかないといけないと思うので、
1:00:26	その辺の考え方をきっちり説明をしておかないと、なぜこの部 分にイメージを入れるのかっていうことを、
1:00:34	わからないので、
1:00:36	結局、その辺の考え方方針、ここに鎮目中入れる方針を、
1:00:42	どっかに書いておかないといけないかなと思ってるんですけど。
1:00:46	どうでしょうか。
1:00:52	北海道電力の立田です。
1:00:54	ちょっと取水イメージ施工女島平面的にどこに入るかって話は
1:01:00	前回の会合で示していったってちょっとこの資料はもう都市整備の構 造変更の部分しか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:08	沖田記載できなくてちょっと申し訳なかったです。まず今のご指摘については、多分まとめ資料とかに記載していくことになろうと思いますので、前回の考え方は変わってませんので先ほどの、
1:01:22	藤原さんと江崎さんの説明
1:01:26	気中部と、途中部の浸水、地中部からの浸水のことも含めてですね。
1:01:32	記載をさせていただきたいと思いますこの資料についてはちょっとレジの構造変更にて化してしまった資料になってしまってこれは申し訳ございませんでした。
1:01:43	土岐セトエザキですけど。
1:01:46	この取水路って出されたと何が違うかっていうと、他サイトは、
1:01:51	海側の前面側に張り付いてんだよね。
1:01:54	投入前も配合がどっちも確かだ、フェールセーフでつけてたんだと思うんだけど、
1:01:59	降灰後だけなんだよね。
1:02:01	ここに目地があるっていうところまで海水が来ると想定しているので、
1:02:08	何を言いたいかっていうと、
1:02:10	海側の直のところ、
1:02:12	考えた時にそこに前面の
1:02:16	地盤があって、改良されてるなり何ですか。
1:02:23	または舗装、コンクリート舗装的な、そういう、
1:02:27	されてるという状況でその中の中に1何メートルかで
1:02:34	止水ゴムが入っている、前面側にね、海側の方に、
1:02:38	いわゆるシートパイルが打ち込めると、同じようなイメージなんですよね。
1:02:43	概念的には、
1:02:44	高浜とかそういうところは、そこでボーリングを考えて、してこないとせでボーリングを避けるために、
1:02:53	部分に関しては地表面にはコンクリート、
1:02:56	の保証的なものがされて、浸透しにくくしているとかですねそういう後々専決されないようにしているっていう部分があるんですよ。
1:03:06	そういったことを考えたときに、ここではどう考えるかっていうと、背後にあるから、そこは水が来るといったときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:13	この緑のところからそのいわゆるどC A B R Iの部分の矩形の部分のところまで1メートルぐらいしかないわけですよ。
1:03:20	これから見ると、非常に、
1:03:22	そう。
1:03:24	ボーリングがかなり、いわゆる地表面と、その1メートルとかなり近接しているの、割とそのボーリングしやすいんじゃないのっていうふうに見、
1:03:35	からすると、見えると思うんですよ。
1:03:38	だから、他のところとはちょっと違うんじゃないのっていう状況が、
1:03:42	かんがみ、見えているので、それをちゃんときちんと説明しないと、
1:03:47	いけないと思うんで今回はあくまでも構造変更を宣言するだけだと思えますんで、
1:03:54	その辺は予想、構造成立性の中で、
1:03:58	ではシミズなんかもある許可の段階でどう考えてるか、何だっけ、これはもう、
1:04:05	確か浸透流とかで検討してたと思うんですけど、
1:04:09	どう考えるべきだったのか、考えるべきなのかというのを、父の部分ですよ。そういったことも示していると思うので、
1:04:15	そちらの方も、この部分、
1:04:17	市で止水ジョイントがいいのかどうか。
1:04:21	ということも含めてになると思うんですよ。その時に地中部っていうことがすごく、
1:04:26	我々としては懸念、懸念材料でもあるのでそこはちゃんときちんと説明してくださいということです。
1:04:35	はい。北海道電力の立田です。衛藤真子。今のご指摘踏まえてまとめ資料では整理させていただこうと思えますけども、
1:04:44	今ご指摘いただいたところでいくと、時代全面冒頭での全面にコガンがありますけども基本ケースとしてはない状態で、
1:04:57	検討してるところもありますのでない状態での浸透流を、
1:05:02	今考えてまして浸透流解析を考えててそこを資料の方に、まとめ資料に、方針を考え、記載していこうかなと考えてます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:41	改良、セメント改良度のね、継ぎ手部分っていうのは、そこではもう設計思想としてどうであれでということですので、設計概念的に層としては、そこには隙間がある。
1:05:54	の隙間は、
1:05:57	敷地側のまでにそれは貫いてあるという、
1:06:01	観点ですよ。それを、
1:06:03	水分明示で止めるんですっていう話になってるわけなんで、
1:06:07	敷地側でね、そこにやっぱりそう。
1:06:11	他サイトから比べる。
1:06:13	弱部があるわけだから、そういった部分に含めて、どう、安全性を確保できているかをどう説明し、
1:06:20	しようとしてるのかをちゃんと方針として、
1:06:25	説明いただく必要があると思うん。
1:06:29	多分コード生成の辺の辺りでも構わないと思うんですかね。
1:06:33	まとめ資料で、
1:06:36	北海道電力の立田です。まとめ資料に静、どうやって取水をするのかという方針を記載させていただいて、その辺の細かいところを、
1:06:47	今後説明させていただこうと思います。以上です。
1:06:52	はい。よろしく申し上げます。基本的、
1:06:55	もうすでに、この止水目地の
1:06:59	方法で、
1:07:01	やろうと。
1:07:03	されてるみたいなので、対策ババ対策をとか書いてあるけれども、実際問題としてもう対策しかないわけですよ。イメージとして考えていく。その辺、
1:07:13	そうなんであれば、あればこそ、その辺きっちり説明するようなことを、やっぱりまとめ資料できっちり書いていただいて、
1:07:22	その上で、これにするんだったら、なぜこれでしたかってことをわかるような資料にしてかないと、いけないんじゃないかなと思いますんでよろしく申し上げます。
1:07:34	はい北海道電力の辰田です変更構造変更した経緯も含めてその辺記載をさせていただこう、いただこうと思います。はい。お願いします。
1:07:45	それから、続けて、説明、ちょっと教えてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:51	案外ボルト、今回のやり方については、般化ボルト等、
1:07:58	し取りに配置するって書いてあって、基本的に1度に配置することによって、もう全部単体で評価するんだ。
1:08:07	はい。
1:08:07	言ってるんですけど。
1:08:09	その辺について、
1:08:12	単体として評価していいのかっていうところが実際、その辺についての説明が、
1:08:20	ちょっとわかりにくい。具体的に市田李はどういうふうにしどりして、6000について、応力的には重ならないって話。
1:08:30	してるんだけど、それが、この断面と違うところは断面でもそうなるのかよくわからないですけど、
1:08:38	その辺について、川名、基本的には重ならなければ団体でいいんだっていうのがこの、この中の説明としては、言ってるんですけど。
1:08:49	この辺のきっちり土取りについての配置についてをきっちり説明をして、どういうピッチで実際配置するのか、それが、
1:09:00	離隔距離小とこれをヤギしておけば、それは重ならないんだとか、そういったロジックはどこにも書いてないんだけど、具体的に千鳥の配置にするには、
1:09:12	どれぐらいのピッチでどういうふうに入れようとしてるのか、そういったものを、ある程度説明をつけないと、
1:09:21	ちょっとわからないかなと思うんですけど、団体でいいっていうことを貫くのであれば、その辺をきっちり説明していただかないと、
1:09:32	やっぱり、後、実験をするなり試験をするなりして、本当に団体でやっていいんだっていうものを作らないと、
1:09:41	持っていけないんじゃないかなと思うんですけど。
1:09:44	特にアンカーボルトのところについては、
1:09:49	どう考えていくのか。
1:09:56	アンカーボルトの千鳥の配置を具体的に説明をして、
1:09:59	これが、
1:10:01	単体で保守的だっていうことの説明を、
1:10:07	つけていただけないかなと思うんですがいかがでしょうか。
1:10:14	北海道電力の佐藤です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:17	衛藤。
1:10:20	実際千鳥のは一井について、
1:10:24	いろいろ書いたりして寸法とか押さえには行ってるんですけども、今現在まだ検討中というところもあって、今回確定者寸法は記載しておりませんが、その辺はちょっと1月の市、
1:10:38	審査会合にて説明しようというふうに考えていました。
1:10:41	大体の先方関係今ざっくりの形で言いますと、
1:10:45	大体が定着部材が400ぐらいの先方間だったり、
1:10:50	アンカーボルトが奥行き方向に1個100ぐらいの配置でピッチ飛ばしていたり、
1:10:56	千鳥と千鳥の頭、ちょっとこうね。
1:11:00	ずれた感じになってますけど、大体それが300だったり、
1:11:03	そういったところで、ある範囲が重ならないように、
1:11:07	考えてはいましたので、
1:11:10	ちょっとその辺の記載が、今回の説明の中で確認できなかったというところの指摘について理解をしましたので、もうちょっと記載ぶり、考えたいと思います。
1:11:21	その辺の具体的なものが全然わからないので、1人の配置ということしかないで、じゃあどれぐらいのっていうのがわからないのでぜひその辺記載をしてくださいね。
1:11:36	北海道電力の佐藤です。記載内容について、
1:11:40	そのあたり、わかるようにもう少し記載確認か考えたいと思います。はい。よろしくお願いします。
1:12:02	すいません規制庁中瀬です。
1:12:06	あと、まずですね、週ちょっと施行明治の
1:12:10	話を、
1:12:12	まず言うてから、次、話をしたいと思いますけど、11ページ見ていただけますか。
1:12:18	11ページで、この施工目地の変更の概要図で、
1:12:24	上のΩジョイントのところ野瀬込みじゃ分かるんですけど、
1:12:30	失礼。
1:12:31	染谷ジョイントから下の底野瀬※時って、何かラス入れるんですか、それとも目荒らして、一体として打つんですか。
1:12:43	いわゆる、何にもジョイント入れずに普通の、
1:12:46	鉄筋コンクリートみたいに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:49	見晴らしして、その次の、
1:12:52	やつを、
1:12:54	4番5番で、コンクリートを打っちゃって、本当の施工目地入れるのは、この黄色い部分だけなんですか。
1:13:02	いや、それーがわからないとと思ってて思ってたんですけど。
1:13:10	あそこどうやるんだか教えてください。
1:13:14	はい。北海道電力の辰田ですこの11ページの施工フローで行くと比木③④と下にある黄色犬。
1:13:25	着色してる目地材がこれエラストタイトの。
1:13:29	イメージをしています。その他のスターの部分については、
1:13:35	宇津木処理というかですねセメントカードセメント変えるのがくつつく、
1:13:41	鬱、1次になる次というか、接触する、直接接触する面になります。
1:13:47	わかりました。
1:13:49	わかりました。
1:13:50	あとですね、14ページの話なんですけど、
1:13:58	もう、
1:14:02	これって対策前の止水構造とアンカーボルトの鉛直と水平畦。
1:14:09	千鳥た対策後のですね、注意が配置されて外力の
1:14:15	夫婦分担率及びし、止水目地構造の破壊形状が異なると思うんですけど、
1:14:22	これって
1:14:24	何で一対一にできるのかなと。
1:14:28	メインん。
1:14:30	殊、
1:14:31	14、すいません何だっけ。ページがずれてるのか。
1:14:38	19ページですね。
1:14:45	19ページですね。
1:14:47	もう、
1:14:55	そうそうそう。
1:15:01	あ、いや、要はね、
1:15:04	この19ページで50%50%って表書いてあるんですけど、
1:15:09	24ページで、破壊形状懇話会形状とかせん断の破壊形状を見ると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:15:17	は会計上の公務抵抗面積が違ってらるわけですね。そうすると、
1:15:22	抵抗する、これが例えば男性にしても、
1:15:26	抵抗は違うはずですよ。
1:15:29	面積が違ってるといふことは、そうすると、これの分担が 50 プラス 50 にはならないんじゃないですかという事なんですけど。
1:15:41	これでしょ。
1:15:53	じゃない。
1:15:57	代表性方向で宗層が違ふ。うん。
1:16:01	阿藤タテホデ見たら断面積も違ふよねて公団面積も、
1:16:07	だから、ボードの、例えば、24 ページでも見てもらえば、
1:16:14	すぐ破壊形式 1 の、
1:16:18	この上方向のボルトの傾向面積等を横に入っている。
1:16:24	ボルトの抵抗面積が違ふますよね。だから、弾性で変形するにしても、抵抗面積違ふから分担率違ふんじゃないのと、だから地図で入っているから、
1:16:35	5050 になるっていうのがちょっといまいち分かんなかったんすけどなんか、試験か何かでちゃんと確認するんだったらまだいいんですけど、それが前回の鉛直ボードだけの試験で、
1:16:48	これがいいという根拠が全然わかんないんすけど。
1:16:52	ちょ技術的にわかんなかったんですけど何か説明こう設定したという理由。
1:16:58	わかれば教えてもらえますか。
1:17:13	だからね、ここ、これ理由がないまま、前回の鉛直 V の試験だけで、その登録票示方書とか、各種合成指針使うって言うけど、
1:17:24	本当使えるんですか。
1:17:27	だから鉛直と図政変をこの V 両方で持たすって言うてるんですよ。
1:17:32	仮に鉛直だけしか持たせないんだったらまだ話はわかるんですけど、
1:17:37	水平両方一緒に持たして案アングルみたいなやつでやるってことは、
1:17:42	今エザキ言ったようにアングルの剛性がかなり高くないと、こういう話って成り立たないんじゃないですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:50	いや、実験か何かでやって確認するんだったら、特に文句はないんですけど。
1:17:55	何も実験やらないような書き方になってるので、
1:18:03	そういうのを見ると本当大丈夫かなと。
1:18:07	思うわけです。
1:18:09	これ説明をお願いします。
1:18:18	北海道電力の千葉です。
1:18:21	こちら 19 ページの方でまず江藤、それぞれの場での反力を、50% ずつに振り分けた理由についてなんですけれども、それぞれ過剰確保、X方向Y方向Z方向で、
1:18:34	理由を考えているんですが、まずZ方向、江藤につきまして、こちら図面上の赤の矢印の方になりますけれども、課長こちらの荷重については、主にその定着部材が、慣性力によって、
1:18:49	引っ張られる。そういう方向の荷重になると考えております。慣性力につきましては、定着部材等に一樣に作用すると、と考えておりますので、
1:19:03	この赤の矢印二つの方向に 50% ずつに分かれて、負担できると考えております。
1:19:11	成長中房です考えていますじゃなくて、どういう根拠でこういう設定したかっていうのを、
1:19:18	聞きたいんですけど、想定だけじゃなくてそういうふう想定できる根拠。
1:19:24	だって、みずから 24 ページで、こういう破壊形状を考えて、こういうことをやってるわけですね。男性にしてもこういう面積が、
1:19:35	抵抗するんですよある程度までは。
1:19:38	そうすると、5050 になるんですかっていう、単純に思うんですけど。
1:19:44	いや試験とかやって確認しますっていうんだったらここで膝あっさり日従って設工認でやってもらえばいいと思うんですけど。
1:19:53	考えている根拠について教えてもらえますか。
1:20:12	北海道電力の田坂ですちょっと少々お待ちください。ちょっと事業者側で相談します。
1:21:12	53.1 コミヤとして、
1:21:17	それでは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:28	規制庁の三浦ですけどおそらくね、これ 5050 が正しいなんて根拠とコウノってこないと思うんだよね。
1:21:34	それで、ちょっとこれ、私自身ノモトササキイセウエダでもちょっと言ってたけど、この設計をしていった時に、
1:21:42	定着版だっけ。
1:21:45	定着部材ですか。
1:21:47	これが先行交付しません。
1:21:50	下で、
1:21:51	だから、アンカーボルトにはかなり余裕がある設計をされるのかな。
1:21:57	と私は思っていて、
1:22:00	要するにこの止水目地の体力を支配するのは定着部材であって、アンカーボルトはかなり余裕あるものになっているので、ここをただ、
1:22:11	便宜上計算上、フィフティーフィフティーにしても十分な余裕を持たせることを念頭に置いてますって、
1:22:18	御説明なるかなと思ったんだけど、ちょっと見解聞かしてください。
1:22:48	まだ、まだ提出されてない。
1:22:50	ということですか。まだ、
1:22:57	でもやっぱり設計ストーリーきちっと組み立てておく必要ありますよね。
1:23:01	5050 信じろって言ってもね、なかなか、じゃあそれでいいのって多分話になっちゃって、長坂言う通りなんですけど、これも実験当たってちゃんと綺麗には出ませんよ。やっても無駄ですよ、実験なので。だから、
1:23:15	こういう仮定を置くんだけども、実際の設計じゃこういうストーリーでやっていて十分な余力はアンカーボルトに出してるんだってというようなことを考えられて御説明になられるのかなって。
1:23:26	思ったので、もう一度ちょっと、
1:23:29	チェックをしていただいて、ナカサノアノ疑問に答えています。
1:23:34	来るわけですけど、ちなみにこの数値解析的な、
1:23:39	チェックとかはしてないんですか。
1:23:41	イメージオフ、具現化するために自分たちの、
1:23:46	例えば

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:48	弾性解析でもいいんだと思うんだけど、弾性的なAMでやったときに荷重分担がどんな感じで、こういったイメージで、
1:23:55	どの程度のその、
1:23:57	構台を使えば大体どの程度挙動を示していくので、基本的には、
1:24:04	実験が必要なのか必要じゃないのか、実験必要だとしても、どのような実験をすればいいのかっていうような、
1:24:10	ところっていうのは、
1:24:12	何か検討されていますかっていうのが今質問なんだ。
1:24:17	衛藤北海道電力の佐藤です。検討自体はしております、
1:24:22	今、定着部材ですとか、アンカーボルトの見込み役でいいのかとか、そういったM24 でいいのか。
1:24:30	そういったもので、成立性がある見通しは出てはいるんですけども、
1:24:36	例えば 50%50%にしているものを 100 ゼロにしたときに、どれほどの裕度があるのかというところの具体まではまだ押さえられていないところがあるので、
1:24:46	ちょっと言葉に止まってしまうところがあったんですけども、
1:25:01	基本的にですね解析的にしても設計的なアプローチにしてもね。
1:25:06	基本的にはその見通し計算という形でやるんで、説明するんであれば、
1:25:12	多分その構造成立性ということでこういう設計アプローチをしていて、ある程度安全余裕があるか、このまま詳細設計段階、
1:25:20	入り込んで、特段、
1:25:22	逆戻りすることはありませんよっていうな、
1:25:25	説明をすされるんであればそれはそれで理解しやすいと思うんですけど。
1:25:30	説明の仕方としてですね。
1:25:32	言ってる意味わかりますか。
1:25:35	もう少しさっき、先ほど先の段階、許可の段階の中でその構造成立性という段階で、もう少し具体的なその、
1:25:45	そちらがどういうふうに検証したのかという説明を、その中で、首詳細、まずまとめ資料に説明を加えた方がわかりやすいのかなと思いますけど。
1:25:58	すごい今ここでね設工認じゃないんで、シビアな話をするつもりはないんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:04	細かい話は別と、こういう方向でね、検討して安全性を保ちますって言うてもらうか。
1:26:11	例えば今、藤原が言ったように、鉛直方向のアンカーボルトをすごく太く長くして、ここで持たせますと、水平方向はあくまでも、その方を止めるための、
1:26:24	主要ですとか、いろんな方法もあると思うんですね。そうすると、鉛直方向についてはこの間の実験はすべて使えるわけですよ。
1:26:33	だから、
1:26:35	この形で、必ずしも今の段階決めなくてもいいと思うんですけどいろんな、
1:26:40	手だてがありますという方向をね、イマイ、
1:26:45	言うてもらう方が、
1:26:48	許可としてはいいかなと思うんです。
1:26:50	これについては、詳細設計の中で、
1:26:53	非常に大勢んやろ。数値解析で見ますとか、そういう方向性を示してくればいいんじゃないかなと思っておりますが、いかがでしょうか。
1:27:22	すいません規制庁タダウチですけども
1:27:25	許可の段階では多分、正直言ってしまうと細かい強度的なスペックの話っちゃうかね、そういったところを追い詰めていく話では当然ないと思ってるんだけど、ただ、
1:27:41	許可の段階で少なくともこういうことでね、成立性をねらいたいっていうのであればそれが斯様な通り、この程度だったら十分整理しますよっていう説明は必要だと思ってるんですよその中で例えばさっき言った 5050 の話についてはね。
1:27:58	じゃなんでこれ 5050 っていうことでね分配するっていうことでね、理屈がつけられるのってところはやっぱり、
1:28:05	設定した以上は説明し切ってもらわなきゃいけないと思ってるし、逆に説明できないんだったらじゃあ本来どう考えるべきなのか融度を持ってきて、ここに例えばこういうところに裕度を持たせるか、十分大丈夫なんですとかいったような説明がないと、
1:28:20	こっちもあれ、この構造で本来持つんですかねなんていう話になっちゃうんだと思うんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:25	例えばこのんなんでしょう。定着部材の板厚なんて、今これ決めてんだっけ、まだ決めてない。
1:28:36	決めてないんだよね。
1:28:38	決めてないんだよ、これで、図だけ、例えば示されちゃうとね我々、いや、こんなぺらぺら板金なあ号コードじゃないかもしれないからもう谷カミデでそういうふうにやっぱ思っちゃうわけですよ。そうすると、
1:28:51	本来こういう構造で、作るっていうときに、例えば定着材ではね、どういった役割を担うんでしようということをちゃんと理解した上で例えば、
1:29:02	ここは剛構造にするんでこれだけ、要はアンカーの応力だけね考えればいいんですとかね、そういったところが本来設計としてあるべき話であって、
1:29:13	そこら辺の設計の思想が我々理解できてないからいろんな質問がね、出てきちゃうんでそれはあくまでも他電力の方のね。
1:29:23	要は設計としてこういう考え方でここを設計しますというところの、説明が十分我々の方に伝わってないからこういうような話になっちゃうんだと私は思っているんですよ。うん。
1:29:35	さっき言ったように、何でしょう。定着材のいたずらって粗相でちょっとこんなもん、例えば20ミリぐらいのでっかいやつやったらね、いや全然変形しませんよって話になったら、
1:29:47	当初のね、考え通りでねじゃん。
1:29:50	アンカーボルトだけのね、評価だけでいけるじゃんとかさ、そんな話が出てくるだけでそこら辺の、
1:29:56	そもそも何にどこにどう負担させるのかっていうそこ僕ら全然わかんないからさ、こんな話は永遠としちゃうような感じになっちゃうんで。
1:30:04	そこら辺、
1:30:05	少なくとも設計をね、ちゃんと成立させるっていう観点からすればこの部隊にどういう役割分担をさせるのか、どういうものを担わせるのかっていうところをしっかりと説明しただけで、
1:30:17	設計として最終的に数値を追い込むは詳細設計でちゃんとやってくださいって話だと思ってるんです。
1:30:22	そこら辺ちょっとまずは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:25	十分説明をしていただきたいと、すみません私は思ってます。以上です。
1:30:33	規制庁の矢崎ですが、このパワポの23ページ開いてもらって、
1:30:39	うん。このね、中では会計式の①と②ってあるじゃないすか。これって
1:30:45	先ほど恩田。
1:30:47	止水ジョイント、止水ゴムが、基本的に
1:30:52	津波、
1:30:53	脱津波のですね水圧がかかったとき、頭で考えられる状態だと。
1:30:59	それぞれのアンカーが曲げせん断引っぱりとせん断がかかるので、
1:31:05	この①と②の破壊形式って同時に起こり得るんですよ重ね合わせ状態になる。
1:31:11	そうするとこの絵だけで見ただけでも、一部その空白の辺っていうのは、曲げせん断の複合力になっちゃうんですよ。
1:31:21	そうしたときに、どういう考え方をするのか、いわゆるさ、奥行き方向の絵でいうとくぎ方向に何ていうんだらう。
1:31:30	破壊形式③に書いてあるように、
1:31:33	千鳥なるつつたとしても、それだけ応力は重なるわけですよ。だから、重ならないところっていうところ、かなり
1:31:41	いい。
1:31:42	相当離隔を取らないと重なっちゃうんじゃないかと思うんですよ。で、それと、
1:31:48	もうフォローしたいのはこれ45分もしか書いてないで、概略でしか出てないんで、
1:31:53	それで考えるのはこの三角形とかそういったものが少なくとも重ならないところまで、
1:31:59	話すべきだと僕は思いますんで、
1:32:03	職域方向に離隔があったとしてもそれが相当離隔がないとそれ重ならないんで、
1:32:07	重ならないというような状態まで持っていけないといけない、全くお互いが勝手に、
1:32:11	繋いであれば多分、今はかいい形式③に書いてあるような三角形が途中で止まっちゃってね、四角形のこの辺のところのところにグレード

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	というのは隙間ができちゃってるけど、こんなことありえないんで、
1:32:24	基本的にこういうふうに水ある離隔かね。大きく変わると、無視できる範囲が領域ができるっていう説明するのであれば、オール9項で説明するべきでその荷重に対して、
1:32:36	支持力ナカノね、休校等の応力に対しての荷重に対しての10%20%30%、40%50%それがどのぐらいの範囲だと広がり、
1:32:48	薄まっていくんです。要は薄まりを示してくるんですかって話になると思うんですよね。そういったものをしていかないと、多分説明ができないんじゃないかなと思います。
1:32:57	こういった構造も踏まえて、
1:32:59	どのように説明するかってのはそちらの
1:33:02	説明の仕方だけだと説明の仕方だと思いますけどそれはまとめ資料にちょっとしっかりと反映して欲しいなど、いわゆるお互いの離隔をどういうふうに考えていくのかっていうことで、
1:33:13	単なる概念的な話だけじゃなくてちゃんと実用に応じた、
1:33:18	応力レベルを考えて何も問題ないんですよっていうことがわかるように説明いただきたいと思ってます。以上です。
1:33:45	はい。北海道電力の辰田です。ちょっとどこの回答からしているのか、なんです。ただ、タダウチさんからのご指摘についてちょっとまとめ資料と、
1:33:56	ちょっと整理して、まず成立する方法は、成立するつもりで、設計方針を立ててますんで、
1:34:04	まずちょっと具体的な数字構造成立性の数字がある、ちょっと次のフェーズの話もちょっと気にしながら、まずその抜く数字を抜いた状態でどこまで書けるかというところが、
1:34:16	普通そういう思いがあってちょっと、
1:34:19	おちになってたところがございますのでその辺の方針しっかり変えていこうと思います。
1:34:24	今の江崎さんのご指摘についてはちょっと23ページをちょっと学会招いてしまったかもしれませんが、
1:34:31	ちょっと赤い色の範囲の話は、ちょっと丸さんの赤い範囲の話がございますけど、こういう千鳥は強いじゃないですねこれ。
1:34:42	タテ要綱配置の時にこの重なるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:34:45	24 ページのような、はさならないようにしますっていうところなんですけども、ちょっとその辺の、
1:34:53	ちょっと2、平面2次。
1:34:59	はい。
1:35:00	こういうふうな、
1:35:02	ちょっと平面的に設定は、
1:35:07	ちょっとこの表現がですね3次元でちょっと説明した方がよかったかなってちょっと今反省もしてまして。
1:35:17	三角形の救急球根ですか。円錐形の、はい。
1:35:22	3次元のほうの方がわかりやすいかなと思ってちょっとこれも平面図、平面的に二次元で表すとちょっと限界があるのです。
1:35:31	はい。
1:35:34	サイトウ線。
1:35:46	いずれにしても、はい。
1:35:59	すいません
1:36:01	規制庁の江寄ですけど千田2課を引っ張り、引き抜きの懇話会に関しては
1:36:07	こういう話でいいと思うんですね千田は、何かこういうな分布でいいのかって話があって、
1:36:12	その一番その、
1:36:14	応力がゼロになるところは、どの範囲で考えるのか。
1:36:19	そこが肝だと思います。
1:36:21	宗さんがこの三角形で広がりを示していくっていう観点でいいのか、だけでいいのかっていう。
1:36:27	あれだよね表面のそ固定ボルトのところの、
1:36:32	点的な荷重がかかっているっていうイメージですよ。実際にはそのシンボが立っているわけで安価とそれが分散して、
1:36:39	基本的にはそそう、そこが繋がって長方形とまで言わないけど、
1:36:45	それに近いような分散の日、広がりは考えなくていいのか、要は広がりの範囲の広がりをもっと考えなくていいのか。
1:36:52	で、応力がゼロになるところはどこと考えていくのか。
1:36:57	そういうことですよ。そういったものも含めてかなり保守的にやったとしても重ならない。
1:37:03	ように配置しますっていう考えであれば私はそれでいいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:09	はい北海道電力の辰田です。この 24 ページのこの応力の範囲は変えて範囲ですねこの色をつけた範囲が、
1:37:18	ちょっとどこまで止められるのかというその根拠も含めてですねちょっと整理をさせていただいてちょっと表現の仕方も含めて、重ならないように配置するというのが、大方針ですので、その辺が、
1:37:31	わかるように、工夫させていただこうと思います。
1:40:22	ちょっとこういう、
1:40:31	ちょっとそういうことと言うとですね、8 ページ目のところに、包丁ての高さの変更によって、に伴って線路が増大すると想定されるからもう、
1:40:42	止水目地を構造、
1:40:44	構造を変更するって書いてあって、下の表のところアンカーボルトのせん断力のところで、もうすでに、
1:40:51	変更するって書きちゃってるんですけど、この辺は、
1:40:55	止水目地を変更することを説明して構造的ですよ。
1:41:00	許可段階で説明するって書いてあるので、それを許可段階で説明するとすれば、
1:41:06	その辺もうちょっと検討しないとイケない部分がたくさん、
1:41:11	あるので、
1:41:13	今後要は工認段階、うその詳細の段階で、
1:41:19	こういう方向で見直しするとかそういうかけたにするのか、その辺、まだまだやらなくちゃいけないこといっぱいあるけれども、
1:41:28	許可段階でどこまであるのかってことを含めて、考え直さないといけないんじゃないかなと思いますけど、いかがでしょうか。
1:41:36	はい北海道電力の辰田ですから 8 ページのアンカーボルトの表の下の、
1:41:41	黄色い文字です黄色く発言するものですね。
1:41:44	構造成立性を設置許可段階で説明するっていう、ちょっと簡単に書いてしまいましたけども今日のご指摘とか踏まえて、ちょっと設置許可段階で説明できるものと、
1:41:55	あと、工認の中で説明するものとちょっと整理をさせていただいて、ちょっと記載のほうも、必要に応じて修正させていただこうと思います。
1:42:06	以上です。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:07	その辺きっちり整理していただいた上で、どれだけ審査会です、するのかっていうことを、整理してください。
1:42:28	規制庁フジノセット 8 ページ関連でここにちょっと話戻ったんでちょっと 1 点だけここで今よつつう並べて
1:42:38	これはあれですかね、構造成立性評価において影響があると考えられる項目及び対策という
1:42:44	タイトルになってて今回はあれ、あれですよ、止水目地はもう変えるってということと、あと変える理由ってというのは、きちっと説明は別途するってということであれば、
1:42:54	もしかしたら 2 ポツの、この 8 ページは別立てで何か、
1:42:58	書いた上で、今後、
1:43:02	残りの三つについては、こういうもんなんですよっていう整理になるという理解
1:43:08	いいですよ。
1:43:13	はい、北海道電力の高沢です。衛藤その理解で大丈夫です。
1:44:04	全部
1:44:37	向杉江と話をさせていただきますと、今回の新、審査会合ではまず膨張て高さを変えます。
1:44:45	あと、この止水目地の構造も変えます。
1:44:49	というのが大きく 2 本立てであって今度、今後やっていく構造成立性評価ってというのはこういうことで何か影響がもしあったらこういうことは遺憾に考えます。
1:45:00	ていうのが多分この 2 ポツですよ。
1:45:02	あとは断面の集約とかというのが、その次に来る、そういう、私は理解でおって、事業者と認識合ってるかという確認した次第ですけど、合ってますか。
1:45:16	はい北海道電力の辰田です。
1:45:18	江藤そうですね 8、8 す欄でいきますと、アンカーボルト等のせん断力という項目立ててますけどもシスイメージの構造変更はしませんというところなので、
1:45:32	それを、それだけが今回変更したいという場所の明示をさせていただいて、そのあと 8 ページの他のを変える必要に応じて変える可能性があるというところは、
1:45:44	今後ご説明するものとしてちょっと 1、1 グループにして、ちょっと明示をしていきたいと思います。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:54	すいません北海道電力の田坂 8 ページのスライドでいくと、なんですけども、ちょっと項目立ても含めて、
1:46:10	はい。
1:46:17	はい。
1:46:18	失礼しました先ほどの今回の変更はあくまでも高さが変わるということと、あと止水目地がまず高さ変更に伴って水換え目地の構造を変えるというところなのでその辺の
1:46:30	明示を変える、窓変えるに立った導入のところを記載していただき、記載して、
1:46:38	高さ変更と目地の変更が、項目に立って、目次に立って、
1:46:45	目次で立てて整理させていただいて、
1:46:48	そこのちょっと 8 度スライド残りのものについてはちょっと別立てで、
1:46:55	ちょっと資料の 11 順番としては、メインには出てこないように進め、出てこないようにちょっと修正をかけます。
1:47:06	以上です。
1:47:08	はい。わかりました。はい。
1:47:14	すいません続けて、先ほど 8 ページの残りの岸目地の子全戸以外についてはちょっと補足にするか、
1:47:24	ちょっとページの後ろの方に行くようにして、ちょっと千田が今後、
1:47:29	参考資料にちょっと下げて、
1:47:32	説明をするようにちょっと工夫をさせていただきます。以上です。
1:48:27	なぜそれ聞いたかっていうと、
1:48:33	すごく、うん。
1:48:35	20、
1:48:37	7 ページ見ていただくと、27 ページの 2 断面と、
1:48:43	66 断面、これ見ると、
1:48:46	多分、防潮底の方は、多分地震力が入ってもそんなに頂上分は、
1:48:52	加速度 9 とか変形変わらないんですけど、下の地盤がですね。
1:48:57	C クラス地盤とか、
1:49:00	ロクロクだったら多分下の地盤で若干ずれてるはずなんですよ、変位差がある。
1:49:08	その辺伊佐が、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:10	この5体の、
1:49:13	包丁てが、
1:49:15	いわゆる上の明示ってせず1メートルか2メートルもないようなイメージのところ以外に、これって膨張でコンクリート国営改良と一体になってるわけですよ。
1:49:26	そうすると、延長方向、例えば26ページ見ますと、一次断面から、
1:49:32	88断面で、
1:49:34	多分、基盤の違いによる応答が違ってくるんです。そうすると、
1:49:39	改良地盤に多分、
1:49:42	変形の差によるクラックみたいな入るかもしれないし、
1:49:47	これは藤原も言ってたんですけど、このグカク部、
1:49:52	は違ってきますよね揺れが。
1:49:56	だからそういうところを見ると、
1:49:59	実は、改良体っていうのは、
1:50:05	改良檀伊井については、例えば静的FEMでどのくらい変位が出るか。
1:50:11	いわゆる、
1:50:12	一時から
1:50:15	7度断面ぐらいで変位が出て、その変位は使い大田には悪い影響を及ぼさないか。
1:50:23	いわゆる目地以外のところでクラックが入るとか、そういうことがないか、いわゆるΩジョイントのところはいいんですけど、
1:50:31	他で、
1:50:32	内科とかあとは高強度コンクリート部分。
1:50:37	でも、クラックが入る可能性がないかっていう、そういうことを考えると、津波で3次元静的FEMやるんだったら、地震でもやんないといけないんじゃないの。
1:50:47	それは30年度、
1:50:49	動的解析難しいかもしれないですけど、どう会で出た。
1:50:53	加速度をある程度静的直して、各断面で、その辺さんを見て、
1:51:00	そういう悪い影響がないかっていうのは確認しないとイケないかなと思って、
1:51:05	明治のあり方を聞いたんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:08	これについていかがでしょうか。どう考えてるかを教えてください。
1:51:22	北海道電力の松元です。明治については、ちょっとまとめ資料がない中大変申し訳ないんですけどもあと前回の審査会合においてですね膨張でガコウ折れ曲がってるところについては、
1:51:36	志賀下までイメージを設けて、教育弱軸方向が交わっ。
1:51:42	変わってくる場所がございますのでそういったところを配慮して目地材を設置して、挙動がそこで切れるような、
1:51:49	強度になるように目地材を設置してやるということを考えておりました。
1:51:55	あと防潮庭が一直線になっているところにつきましては先ほど施工目地のところで打ちつけるという話があります。話をさせていただきましたけども、
1:52:05	そこで直線部についても、施工ブロックで江南ブロック化分けて、
1:52:10	施工していく予定ですのでそこで挙動は、
1:52:15	異なって、
1:52:18	違ってくる。
1:52:19	そこで縁を切っているというような状況になるというふうを考えております。
1:52:24	円を切るということは減らすか何か瀬古水として入れるという意味ですか。
1:52:31	と、
1:52:35	道は、
1:52:42	はい、横江、北海道電力の松元です。直線部については明治は、エラストイトは入れない。
1:52:50	屈曲部についてはエラストイトを入れるということを考えております。
1:52:55	今言ったら何かブロックに分けて入れるみたいな話ってなんですけど、
1:52:59	じゃあ、基盤の違いによる、
1:53:02	変位、
1:53:03	の違いっていうのは、例えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:06	全部2次元FEMじゃなくて、SHAKEで立ち上げてみてやればわかると思うんですけどその影響っていうのはあるかないかっていうのは、チェックされるんですか。
1:53:16	だってこれ目地入れなきゃ一体もんですよね。
1:53:21	一体問題、多少基盤による偏差、いや、剛体なんで、
1:53:26	なおかつ鉄筋も入ってないんで、クラックが入ると、そのまま違うところから、津波の荷重が出てきたりする可能性はないんですかっていうことなんです。
1:53:38	安全だという根拠を示してくださいっていう言い方変えればそういうことなんですか。
1:53:44	はい。
1:54:00	土岐ですけど。
1:54:05	しっかりそういう処理しなきゃいけないくて、
1:54:08	耐震性能としてある程度、
1:54:12	その変形を追従させないように、移送なんて、
1:54:18	塩切りをするという考え方とその演技されたところから水が入ってくる。
1:54:23	という概念は不整合でやっちゃいけないので、設計のコンセプトとして、
1:54:27	そういったところで例えば減らすとか入れて、基本的には演技してるのであればそこ、そこは水みちになってるっていう解釈しなきゃいけないくてそのとき、そのためにその水みちをどこかで水を押さなきゃいけない。
1:54:40	ていう適切な措置をしてますって説明しなきゃいけないので、それを全部一体として整合性の整合のある考え方にしとかない整理しとかないと。
1:54:50	多分話が、
1:54:53	多分、うん。
1:54:54	なんての合理的な説明ができないと思うんだよね。
1:55:01	北海道電力の辰田ですちょっと即答できなくて申し訳ございません。
1:55:05	ちょっと前回までの平面形状の時に屈曲部の話をされていてちょっとその辺の屈曲部のところのあるところは明示はどうするんだというところにちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:16	着目して回答してたところがございます。ちょっと全体平面系生命線系全部、
1:55:24	ありますので先ほどの基本的な考え方を示して、明治の考え方
1:55:33	明示入れるのは、今、今ご指摘の、
1:55:39	イマセ公的にイメージを入れなきゃいけなくなっていればそこからの取水浸水を防止する対策というところをちょっと、ちょっと間共通認識というか基本方針をもう1回今一度整理をさせていただこうと思います。
1:55:54	以上です。
1:55:56	規制庁ナカセ基本方針わかりましたけど、前回のやつでちょっと教えて欲しいんですけど、各部は理事を入れて、その止水性は女ジョイントかなんかで取るっていうことだったんですか。
1:56:09	はい。北海道電力の辰田でその通りですね目地材特区、
1:56:16	26 ページ目でいくと、
1:56:18	時着目されたのが、
1:56:21	ギイにちょっとちっちゃい、
1:56:24	右上にちっちゃい平面図が、
1:56:26	26 ページのところがございますけども、
1:56:29	ちょうど4平面図で44断面と55段目の間ぐらいに屈曲部ございますけどもここにはジョイントアノ目地を、
1:56:40	入れる予定で、そこに止水目地を設置するという方針でした。その他のヘイスウー直線のところというのは、
1:56:49	一体に動くという考えでありましたけども、先ほどの明示を入れる方針含めて、整理をさせていただこうと思います。
1:57:00	じゃあ、整理やったらお願いします。これもあれですよ、詳細設計でやるっていう課題になってますはい。そうですね。はい。
1:57:10	わかりました。
1:57:12	でも、何か基本的な考え方だけは、許可でやらないとまずいと思いますけど。
1:57:19	津波も、
1:57:32	北海道で、構造仕様はある程度設置許可でちゃんと説明してもらって、その見通しっていうものが行った段階で詳細設計でよく評価見落としてきますんで、
1:57:43	ある程度固めとかなないと、
1:57:48	北海道電力の二つ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:57:53	けども、ちょっと前回説明、方針を説明させていただいているので、
1:58:00	そのホース、
1:58:02	前、
1:58:13	木内ですけど会合で何か私の記憶だと今後、いやグー画分ところはちゃんとやりますっていうのは聞いててそれ以外のところは今後ちょっと何かまだ検討しますぐらいな。
1:58:26	して出されたと思って、私は何かあまりその、
1:58:29	まず、屈曲部に施工目地は設けるんだったら当然施工目地のところも、私は、今の何だろう、一体スギヤマハラして、打設とかいうんじゃないに、
1:58:41	もう本当日地材を設置した上で、要は一体構造としない。
1:58:46	いいもんだと私は的を持ってたんすよね。だからその、さっき、中橋サイトの要は岩盤がこうなんで高さは防潮で延長線上で変わるようなところで、挙動が、
1:58:57	軽いなところは当然そこはと縁を切るでしょう。
1:59:00	そこがまず一つあって、それに加えて今度施工の観点での目地。
1:59:05	でやったら、
1:59:07	ちょっとそこはどうなんすかねいや、
1:59:09	構造上設けざるをえないところと、
1:59:12	あと施工上、一体化させるんだったらそこはもう一体であってΩジョイントして入らない。
1:59:19	っていうのも私は1個何かあるのかな。今田、ごめんなさいちょっと私わかんなくなってきたのが、単純に一体構造なんだけど、何となく設けましたゴムジョイントは何ですかねこれ。それとも、
1:59:34	いやこの施工短いん水。
1:59:37	そもそもここないって言わんとしなんかちょっとわかんないす私、何か混乱してきました。
1:59:49	北海道電力の田澤ですちょっと社内で打ち合わせさせてください。
2:01:30	北海道電力の辰田ですいません。
2:01:33	ちょっと前かいいを示した中では屈曲部の話がメインで、また、岩盤の高さがシマダ岩盤じゃないの。
2:01:45	ハウジョウでの幅が変わるところとか水路が横断するところはまた別で区切りますんでそこは入れると、その他の考えは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:55	防潮底の幅の話にもなりますんでその計算が出てきてから、どういう断面で、あと平面的にどこにそういう時ネジが設置されるのかというところを、
2:02:06	あわせて設置許可段階で説明するということを記載してましたのでちょっとその辺ちょっと、
2:02:12	違う、回答してしまいましたけども、設置許可段階の中で、構造成立性の脳波話と合わせてどこに目地が入るのかというところとどういうところで、
2:02:23	浸水防止をするのかというところを説明するというので、ちょっと修正させてください。以上です。
2:02:34	はい。いくつかあるうちの一つはわかりまして、ごめんなさい、もう1個ちょっともう1個とか、
2:02:40	これ、ここで言う施工目地例えば11ページのこの施工目地っていうのは、
2:02:45	今の、私、屈曲部っていう観点での目地材の配置箇所、あと、及び、このゴムジョイントの配置。
2:02:53	と、あともう1個間中さんも繰り返してる要は
2:02:57	構造上3次元的な影響が否定できない。
2:03:01	から設けざるをえない。
2:03:03	もの。
2:03:04	とは別の、11ページはそれを記載をされて、要は全然タテ例えばですよ
2:03:11	ありえないと思うんですけども、5メートル間隔で施工目地を
2:03:16	やります。でも、別に5メートル間隔でゴムジョイントは本来要らないですよねとか。
2:03:22	いうところがあって、そこは、
2:03:24	土肥。
2:03:25	何だろう、そういった5メートル間隔やっても施工目地はあるけどもゴムジョイントをつけますって言うてるのか。
2:03:32	それとも、何かいや、もうちょっとこれ私ちょっと今思ったのが、
2:03:37	要は、何ですかね施工上、5メートル価格で設けなくても、同一部材で或いは目荒らして打設するんだったらドイツだから、当然水が入ってこない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:47	だからゴムジョイントは設けませんっていうふうに、いうことも一つ何かもしかして、
2:03:52	ある、あるのかな。そこまで今回書かれてないんですけどね。これ、ちょっと私わかんなかったのが、
2:03:58	今のその施工目地っていうのの考え方、これ、どうなんでしょうかね。今、具体的に何か、
2:04:04	どんくらいぐらいの延長方向の、どれくらいで考えられてるとかありますか。
2:04:09	配達だ北海道電力の辰田です。この11ページ目の明示は、
2:04:18	今の屈曲部の話と、
2:04:20	水路横断部、
2:04:23	通路を横断部で構造を開けなきゃいけないところ。
2:04:26	あと防潮での幅が変わるところぐらいのところ、どう考えてまして、その以外は、
2:04:34	Ωジョイントはつかない、一体化する、直線部なんかは一体化する予定で、確実に実技をしながら一体化をするという構造を目指しています。
2:04:46	今特に平面的に直線部分については何メートルぐらいなのかというところがちょっとまだ詰めきれてませんけども、
2:04:57	施工側からどういうスパンになってくるのが一番いいのかというところも検討しながらですね。
2:05:07	ちょっとその辺はまだ数字が出てないんですけども、
2:05:11	直線部は、一体できるところは、
2:05:15	普通の打ち継ぎあるうちのΩジョイントを入れない、普通の次。
2:05:21	あと構造、構造が変わるところ、水路構造物が主体になるところは、目地材Ωジョイントのような止水目地を入れて、
2:05:31	そこからの浸水は防護するという考えです。
2:05:35	姫路、
2:05:38	目地材は入れないです、あの一帯のところ。
2:05:42	吸収するじゃ、この11ページで示されてるのは、目地材を入れない、施工目地というのはあれですかね、主水路を横断する箇所、
2:05:52	でやってこのΩジョイントを配置する場所。
2:05:58	なんかその区別がやっぱわかんないですね屈曲部と、
2:06:18	そういう話は、
2:06:23	例えば10メーカーの中で、例えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:29	と、ちょっと今庁内で打ち合わせ少々お待ちください。
2:11:36	規制庁のタシロです。ちょっと今UEXの不調で、再度再起動させていただきましたオカドリンク本店の方音声聞こえておりますでしょうか。
2:11:45	です。
2:11:48	ありがとうございます。はい。
2:11:51	こちら音声問題が聞こえております。
2:11:53	はい。
2:12:08	規制庁藤原です。ちょっと上VX後回復はしていますが、ちょっと今庁内で打ち合わせします少々お待ちください。
2:37:38	規制庁フジワラです。ちょっと今庁内の打ち合わせに、ちょっと長規制庁の考えをちょっと今まとめている最中でちょっと長時間におよんでいます、もうしばらくお待ちください。
2:39:45	規制庁、藤原です。ちょっと今規制庁の打ち合わせが終わりました。で、一応我々の方でちょっと確認をいろいろと今の事実確認をさせていただいた中で、ちょっと今回、今後整理いただきたいのが、今回いろいろと、
2:39:59	なんすかね。施工目地を設ける箇所がいくつかあったりとか、或いは
2:40:05	ゴムジョイントと、
2:40:08	その目地、要は膨張で全面電池公募全面によって目地材を設ける
2:40:15	ところ、
2:40:15	そういったところの関係がちょっとわからないので、ちょっと7Ωジョイントだけ押せ雨がジョイント、目荒らしやらず。
2:40:24	ふやした施工施行海自儲けにタテの見直しかなとか減らしたいと思うけどそういった各区分ごとにその表を作ってもらってあと、実際その
2:40:36	このウの目地を設置するところがグー各部辺りあと取水のそこだったりあとそれ以外のところでもしあったら、
2:40:44	じゃそこはどうするのか、それは当然、
2:40:46	Ωジョイントはないものもあるけど、目荒らしはするだとか、
2:40:51	何かいろいろ多分場合の状況があると思うので、具体的な内容をちょっと整理した上で、説明を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:58	してください。それは耐震性っていうその挙動の観点、あと津波というその止水性の観点ですかね、それを混在させてほしいと思います。
2:41:08	すいません。今の話なんですけど、
2:41:11	ちょっとまたまとめるにあたって今藤原が言った通り、まずその耐震性の観点で何をするのか、耐津波の止水性の観点で何をするのかっていうところでのまとめを、
2:41:24	していただいた方がより明確になるのかなと思ってます。例えばだから耐水性、
2:41:31	耐津波返してね、津波オダから遡上させないために何をするのかそこΩジョイント使うんですよっていうならそれはメーカーで達成します。
2:41:41	耐震性としてね余計なね、グカク部のところでねその応力、大きな過大な応力発生させないよっていう意味ではそのスキーム明寺仕入れるっていうことで、撮影させるんですよとか、
2:41:54	目荒らししないんですみたいな話でやる、そのぐらい出てるとするんですよってだからそこら辺、
2:42:00	何を達成させるためにこの手段使いますっていうところでの整理をし、していただけたらと思いますはい。その方がより明確になるのかなっていう気がします。
2:43:39	はい。北海道電力の立田です。
2:43:44	今、ちょっとちょっと中間テストもしちょっと打ち合わせをしましたけども、
2:43:49	衛藤。
2:43:52	まずいろんなちょっとタイプの目地があるっていうことをちょっと混乱させてしまってる原因かなと思ひまして、その平面位置図も含めて示して、
2:44:02	どういうところに、どういう目的で使うんだというのをちょっと整理をさせていただいて、
2:44:08	そこで、使い分けるな使い分ける理由だとかっていうのを整理していつどう、それをその部分のまとめ資料の方で整理していただいと論点になるようであれば、
2:44:20	またご議論いただこうと思いますのでよろしくお願いします。
2:44:58	規制庁藤原です

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:01	今ちょっと止水目地の構造変更に関する今、引き継ぎをちょっといろいろとやってたところなんですけども、その次の年、
2:45:12	んな内容について確認したいと思います評価関係ですかね。
2:45:16	はい。
2:45:22	はい。
2:45:23	はい。
2:45:24	規制庁谷口です。
2:45:26	15 ページ目のところに、設イメージの構造の変更、評価方法というところがあります。
2:45:35	設置変更の許可段階で定着部について、
2:45:39	2次元の動的と3次元のF M。
2:45:42	ナカイ 10 かな。
2:45:44	等で、いわゆる定着材の断面力、
2:45:48	だからあんたボルトのところも、同じ2次元と3次元の静的なことが書いてあるんですけど、
2:45:55	これ特にアンカーボルトの事実と津波時の断面力評価に、
2:46:00	どうして2次元の動的と、3次元の静的のエミ間を別々につくって、
2:46:07	どこの6日で評価するのか教えてください。
2:46:15	北海道電力の千葉です。19 ページお願いいたします。
2:46:25	アンカーボルトの評価において、2次元S F A Mと3次元F E Mの比を解析を使い分ける理由なんですけれども、左の絵と図2、セメント改良の定着部の境界のモデル化イメージ。
2:46:38	ありますこちらで、左の方、2次元F E M解析モデル、こちら地震時及び重畳時のモデルなんですけども、こちらについては地震時の重畳時については定着部材とセメントガイドの管理設置する。
2:46:51	面直前とせん断ばね、こちらのばねから、アンカーボルトに発生する荷重を衛藤、
2:46:58	戸井田市で算出いたします。で、右側へ3次元、その右側に津波時、書いてますけども津波時については、このばねの反力を3次元の静的F E Mから取り出して、
2:47:10	算出するというので、衛藤それぞれ衛藤ばねの衛藤。
2:47:16	荷重を取り出すモデルが地震時上従事津波時とモデルで違うので、解析方法を使い分けているということになってございます。
2:47:25	この辺、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:27	3次元で全部やるっていうのはありえないんですか。
2:47:32	動的だからできないってことですか。
2:47:44	どう電力の佐藤です。ちょっと3次元動的解析は今現在の、
2:47:52	なんていうか、解析のパワーの問題もあって、まだ一般的ではないというふうに考えてますので、衛藤地震時及び重畳時、地震に関係するものは二次元動的。
2:48:03	を考えています。
2:48:09	データと、
2:48:11	だけども、防潮液が線状構造物っていう分類をしてるから、はい。
2:48:17	あと、
2:48:18	そうですね。長駅としては、線状構造という話もありますので、地震時は、
2:48:24	このように、
2:48:26	2次元で解いております。3次元については、津波については、漂流少数荷重も、
2:48:34	対応することを考えてましてこういった3次元モデルもありますので、
2:48:38	こちら3次元で、
2:48:41	とこうというふうに考えている。
2:48:43	この辺をね、
2:48:45	ここの表示の特に、先ほどの、
2:48:50	一覧表かな。
2:48:52	制作段階ボルトのところについて償還方法の部分がその辺を説明なく、二次元動的と3次元からいろいろ定着というな表現をしているので、
2:49:05	この辺の書きっぷりをもう少し丁寧にしていただいて、場合によっては、このフローか何かがあればいいのかもしれないけど、説明をちゃんと加えていただければと思います。フローか何かで書くのが一番いいんじゃないかなと。
2:49:21	私は思います。ちょっとその辺を、
2:49:24	工夫して記載をしてください。
2:49:27	はい。北海道電力の佐藤です。前回審査会合で、この辺の
2:49:32	フローというものは作成していたんですけども、この定着部材に関するところ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:37	何か部材に関するところ、そういったところも書き加えてですね。
2:49:41	ええ。
2:49:42	解析手法の使い分けの説明について記載したいと考えております。はい。お願いします。
2:49:48	それから一ゴムジョイントへの水圧の注力、これアンカーボルトの断面力、
2:49:55	これについては、19 ページ目に書いてある、この
2:50:01	定着部材をモデル化した、このモデルで評価するってことになるんですか。19 ページ目の一番右側のところ、解析の②って書いてあるんだけど、
2:50:12	このモデルを使ってやるってことですか。
2:50:15	北海道電力の佐藤です。はい。このモデル。
2:50:18	で、
2:50:20	定着材。
2:50:21	及びアンカーの評価をしたいと考えてます。
2:50:25	これは、ここで出てくる相対。
2:50:29	解析①の相対変位を解析に入れるってのは表現してるんですけど。
2:50:36	相対変位ってな。
2:50:38	ごめんなさいちょっとよくわからないんですけども、
2:50:42	どういうふうに、
2:50:44	加えて評価するのか教えてください。北海道電力の佐藤です。18 ページにちょっと概念的な絵が書いてあるんですけども、
2:50:55	これを作ったり、
2:50:58	はい。防潮ての断面の海山断面で解析した変位を用いまして、ここで出てくる変位をですね、
2:51:10	左側の絵のように、実際、
2:51:13	図らしいまして、それによって、アンカーがどれだけ伸びて、
2:51:20	そこに水圧がかかると、円弧ができると。
2:51:24	いうふうに、そのエンコから、あと耐水圧をかけてですね。
2:51:29	それが張力になると。
2:51:32	いうところになりますので、
2:51:35	それによって引張力、ちょっとその変更の角度によって、引張力とせん断力に設けられて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:51:42	このフレーム解析に用いる力になるということになります。
2:51:48	これは、
2:51:49	津波時と重畳時におけるもう調停間に生じる相対変位、
2:51:55	ていうのは、
2:51:58	もう調停の解析モデルで出てくるんですか、ちょっと私はちょっと。
2:52:04	認識できなかったんだけど、
2:52:10	津波時及び所重畳時における防潮低下の水生じる相対変位っていうのは、
2:52:17	どのモデルで出てきたものを入れるんですか。
2:52:20	こちらの出てくるモデルはですね。
2:52:24	16、
2:52:28	ページのですね。
2:52:29	この
2:52:31	左下の解析1と書いてるもの。
2:52:34	地震時及び重畳時の解析値と書いてるもの。
2:52:37	ですとか、
2:52:38	津波時は、この真ん中の3次元モデルの変位を使います。そうすると相対変位量というのはこの①ササキ①モデルとか、
2:52:49	津波時の解析悪いモデルと相対変位ってことね。はい。はい。それをやっぱりわかるようにして記載をしておいてください。
2:52:58	北海道電力の佐藤です。承知しました。はい。よろしく申し上げます。
2:53:03	以上です。
2:54:26	はい。規制庁藤原ですちょっと時間もちょっと議員もう大分過ぎてます次ではないか。ちょっと今、近づきますので
2:54:36	今後の審査会合に向けて質疑をしないといけない項目についてはちょっとこちらの方から言いたいと思います。
2:54:49	規制庁の熊谷です。
2:54:51	それでは衛藤。
2:54:53	構造成立性評価断面の集約についてということで、一番最後の方の、
2:54:59	ここで記載されてるところで、
2:55:02	と。
2:55:04	26 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:06	ところですけども
2:55:08	先に 17 ページからいきますか 27 ページのところ、
2:55:12	この左側の表のところですね。
2:55:15	2 断面ロクロク断面ということで、
2:55:18	クラベられていて、
2:55:21	それぞれその津波、
2:55:23	動圧、
2:55:24	部長高さとかですねいろいろ書いてあるんですけども、
2:55:28	津波波力の数字のところについては、
2:55:31	これってどういった数字を用いて、記載されているのかなと思いまして、今度厚のところなんかについては、備考のところ、どこに記載してますっていうか、考え方とかですね。
2:55:42	被災を書いているんですが、津波のところって、これどういった表示を考えてるんでしょうけど、備考のところも可能であれば記載していただければと思いますが、
2:55:52	北海道電力の松本です。津波波力の算出方法について備考欄に追記させていただきますが考え方としては、
2:56:00	入力津波高さ高さを 19 メーターの、
2:56:04	高さとしてその半分を推進し、浸水深として、浅倉地区で 3 倍波力として今算出した値を仮として今こちらに書いております。
2:56:18	はい、規制庁クマガイです。ありがとうございます。
2:56:20	それってのはもう各断面全部、もう過去して、提示されてるんですけどつけそうだった、
2:56:27	電力のまつもとです。各断面提示はしておりません。
2:56:31	今回初めて出されてる。
2:56:34	北海道電力の松本おっしゃる通りです。
2:56:37	はい、わかりました。
2:56:39	ちょっと 26 ページの方に、
2:56:42	きますけども、
2:56:44	このフローの中でこの津波時における断面選定と、この津波波力ってのこの、
2:56:50	津波の
2:56:52	における断面選定のところに出てきた数字なんじゃないかなと今思ったんですが、そういったことでよろしいでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:02	北海道電力の松本です。26 ページのこの青枠のフローの中で皆、右側に津波時における断面選定のフローがありますけども、津波波力は、防潮て前面の敷地高さ、
2:57:16	等に依存して、深くなればなるほど、波力が大きくなるという方向になりますので、観点でいく、いくと岩盤深さの断面で、断面選定を行っておりますのでその中に網羅されているという考えです。
2:57:40	すいません北海道電力のマツモトず、それがかかり、書いてあるかと言われますと書かれていないので、それがわかるように補足させていただきます。
2:57:51	はい。規制庁熊谷です。
2:57:53	はい。そこら辺、
2:57:55	ちょっと整理してもらえればと思うんですが
2:57:58	このフローの中でですね。
2:58:00	前回、
2:58:02	地震時における断面選定ということで、
2:58:05	2 断面 6 断面とこれ、地震時における断面選定としてご説明されて出されているものだと。
2:58:11	思いますけども、
2:58:13	津波時における断面選定で何かダンメンってのは出されてるんでしょうか。
2:58:17	そこら辺を、
2:58:19	をまとめて、
2:58:21	構造成立性評価断面の決定ってのがなされて、
2:58:26	るんじゃないかなとこのフロー図を見るとそういうふうに見えるんですけど。
2:58:29	そこら辺の、
2:58:32	誠意ってどうされてるのかなっていうのと、今回
2:58:36	評価断面を集約っていうことで今回新たにですね、
2:58:39	断面選定の決定の後に、さらについ集約されてるんですが、
2:58:44	この集約の条件を見ると、
2:58:47	津波波力ってのは、津波の断面選定のときに出されてるものですし、
2:58:54	それ以外のものについても地震時における断面選定のときに出されていたような観点で記載されてると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:00	なんでもうすでに、
2:59:02	出てきてるですね、下から新たな観点もなくですね、これまでの評価の、
2:59:08	断面選定のときに出てきてるような、
2:59:10	観点で整理されたものを、決定のあたりさらに、
2:59:14	集約してるんですけども、
2:59:16	これ、このフロー上で断面を決定する時っていうのは、各
2:59:21	地震時におけるもの、津波時におけるもの、そういったものを、
2:59:25	整理して、断面決定すべきものだと思います。それが、その考え方のフローだと思いますので、この集約っての、
2:59:32	決定の後にオクってのはちょっと、
2:59:35	イメージとしてですねわかりづらくて、
2:59:39	地震時によるもの、津波によるものそういったものを、
2:59:42	整理した上で、
2:59:44	断面を決定するっていうフローになるんじゃないかなと思うんですが、これ
2:59:49	過去の、
2:59:50	考え方に引きずられてですね今回追加っていうことで示されてるんですけども、
2:59:56	この
2:59:58	評価断面の集約っていうようなその考え方のフローとしては、
3:00:03	よりわかりやすいフローにしていただければなというふうに思ったんですがそこら辺はどうでしょうか。
3:00:10	北海道電力の松本です。今おっしゃられた通り決定の後に集約くるちょっとフロー上
3:00:17	変化が確かに変かなと思う。
3:00:20	認識しました。
3:00:23	この1断面に集約する際の観点がその蹴った面の決定の前に、
3:00:30	もともと整理されているものであって、それを踏まえて断面を今回、インナミ断面にした、その条件としては保守的条件の設定をすることによって1段目にしたという流れがわかるような、ちょっとフローを見直したいと思います。
3:00:47	はい。規制庁熊谷です。
3:00:48	はい、ありがとうございます。それであと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:00:52	今回地震における断面選定とか津波時における断面選定ってあるんですが、
3:00:59	断面選定ってのはこの地震時と津波時だけなんですか。例えばその、
3:01:04	重畳するような時たちとか、
3:01:06	あとは漂流物対策行為に対する、
3:01:09	ラーメンとかってのはそれはまた別の観点で何か断面を宣伝されたりするんですかそれとも、この中でまた一緒にやるんでしょうか。
3:01:17	北海道電力の松本です。重畳時におきましては、重畳時における断面選定につきましては地震時と津波時の項目を満足していれば
3:01:29	断面選定は網羅されていると考えております。あと津波時における漂流物荷重につきましては、泊サイト一律アノ現在 2000 k N の漂流物が作用すると。
3:01:41	いうことを考えておりますので漂流物荷重の観点での断面選定は不要と考えております。
3:01:51	その間この
3:01:52	フロー自体ですねその中でそういった考え方ってのが、
3:01:56	私目されてないようなところがありますので、
3:02:00	フローでどういうふうに、
3:02:03	地震津波だけじゃないものもですね、考慮してるっていうことになってるんであれば、それもちょうとわかるようなですね、何か備考でも何でもいいんですけど、わかるようにしていただければと思います。
3:02:15	それを電力のマツモトで承知しました。
3:02:19	福士からは以上です。
3:02:22	はい。規制庁藤原です。今のクマガイの言う通りなんでして、結局あれです
3:02:30	26 ページで何か津波時が何かもうあたかも何か整理がなされてるかのよう、見えるところは、実際ちよつとこの資料、あと、過去の資料見てもやっぱない、なかったっていうところがあって、
3:02:42	多分何がしかの評価に包絡されてるっていう何となくはわかってはいたものの、
3:02:47	それがこの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:49	資料に入ってますかっていうとやっぱそこ入ってないのでまずそこは入れて欲しいですね。そこに入れるにあたって当然、ロジックですかね。悠空は当然、今、会計から
3:03:01	膨張天端の高さが一番高いこと、等背面の埋め戻しが当然低いほうが波力もきついで、そんな影響は多分、
3:03:11	何だろう、動圧はなんか相殺される方法とか何かどっか書いてましたねそういったものをちゃんとなんか組み合わせた上で、要は、今回の断面選定は、津波時もちゃんと考慮してやってますっていうのをちゃんと
3:03:23	なんかも網羅して書けるようにやっていただきたいと思います。よろしいですかね。
3:03:29	北海道電力の松本です。承知しました。
3:03:34	藤。はい。ちょっと大分時間がちょっと押しちゃって、ちょっと介護次回の会合にかけろべきポイントっていうのが、
3:03:44	土肥さんの目次の2ページの3ポツの姫路構造以外のものについてが今、
3:03:51	ちょっと優先してちょ、今日の日や、今日のヒアリングで確認したいことありますんで、これらのものに関して今、言っておきたい。
3:03:59	言っておかなければならないっていうのは、まず会議室側ございますか。
3:04:05	よろしいですか。
3:04:06	はい。
3:04:07	衛藤井口さん家の方で
3:04:10	何か、
3:04:12	今日の映像なんだろう、目次の2-2ページの絵と止水目地構造以外で確認したいことございますでしょうか。
3:04:26	はい。なさそうですね。はい。
3:04:28	ちょっとお待ちくださいね。
3:05:31	はい。衛藤規制庁藤山です。そしたらちょっと今、
3:05:37	今回事業者の方から今パワーポイントの資料のあれですかね。
3:05:44	そうですね3ポツの墨字構造の変更これちょっともう1回ちょっときちっと整理をされるということですので、それ、
3:05:52	以外のものについて今日質疑をやりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:55	これに関してははい、じゃあ、あほ規制庁側から特にないということで北海道電力から何か確認したいことございますか。
3:06:11	はい。北海道電力ですけれども、今日いろいろ事実確認をしていただいた上で、我々としては10月の初めに、会合をかけるものとしては、
3:06:22	目次でいうところの124番と、3番については今回止水目地を変更することによるコンセプトというか、どういう観点で、それを考えてるかっていうような、
3:06:35	雨期さ言いに3ポツの方は変えていって、今日いろいろご議論いただいたものについては、介護以降のまとめ資料で、しっかり中身を反映して、
3:06:46	1月に向けた構造成立性で、きちんとその根拠をもってご説明できるような準備をしていきたいというふうに考えてございます。
3:06:58	そういった形で準備していきたいと思います。
3:07:59	はい。規制庁藤原です。はい。特に
3:08:03	よろしければ、今日のヒアリングについては以上どうしたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。